

# 南部保健所年報

(令和4年度事業概要)

第71号

令和5年10月

埼玉県南部保健所



# 目 次

## 第1部 南部保健所の概要

1	南部保健所管内の人口	1
2	南部保健所の組織	3
3	南部保健所の沿革	5

## 第2部 担当別事業概要

### I 広域調整担当

1	広域的な健康危機管理機能	1
2	保健所業務の専門性強化	4

### II 総務・地域保健推進担当

1	衛生関係免許事務	1
2	地域保健医療計画の推進	2
3	統計	4
4	医務	5
5	医師臨床研修	8
6	学生実習	8
7	健康長寿のための埼玉県地域・職域連携推進事業	9

### Ⅲ 保健予防推進担当

1	感染症予防	1
2	母子保健	9
3	難病	14
4	肝炎治療医療費助成	27
5	原爆被爆者援護	28
6	石綿（アスベスト）健康被害救済給付制度	28
7	健康づくり・栄養	29
8	歯科保健	30
9	精神保健福祉	31
10	現任教育	35

### Ⅳ 生活衛生・薬事担当

1	食品衛生	1
2	動物指導	7
3	環境衛生	9
4	薬事衛生	10

### Ⅴ 食品監視担当

1	食品監視担当業務概況（保健所統括表）	1
2	収去検査の概要	2
3	違反食品等発見処理状況	3

## 第1部 南部保健所の概要

埼玉県南部保健所は、県中央南部の蕨市・戸田市の2市を所管地域としています。

この地域は、荒川を挟んで東京都に隣接しています。都心から20km圏にあり、JR京浜東北線と埼京線、国道17号線が縦貫するなどの利便性の高さから、東京のベッドタウンとして開発が進んでいます。



### 1 南部保健所管内の人口

令和4年度、南部保健所管内の面積は23.3km<sup>2</sup>で、人口は約21万6千人でした。

管内2市の特徴としては、蕨市が面積の小ささと人口密度の高さで全国一の市であり、戸田市は若年層を中心とした若い市であるといった点が挙げられます。

表1 世帯数・人口・面積・人口密度

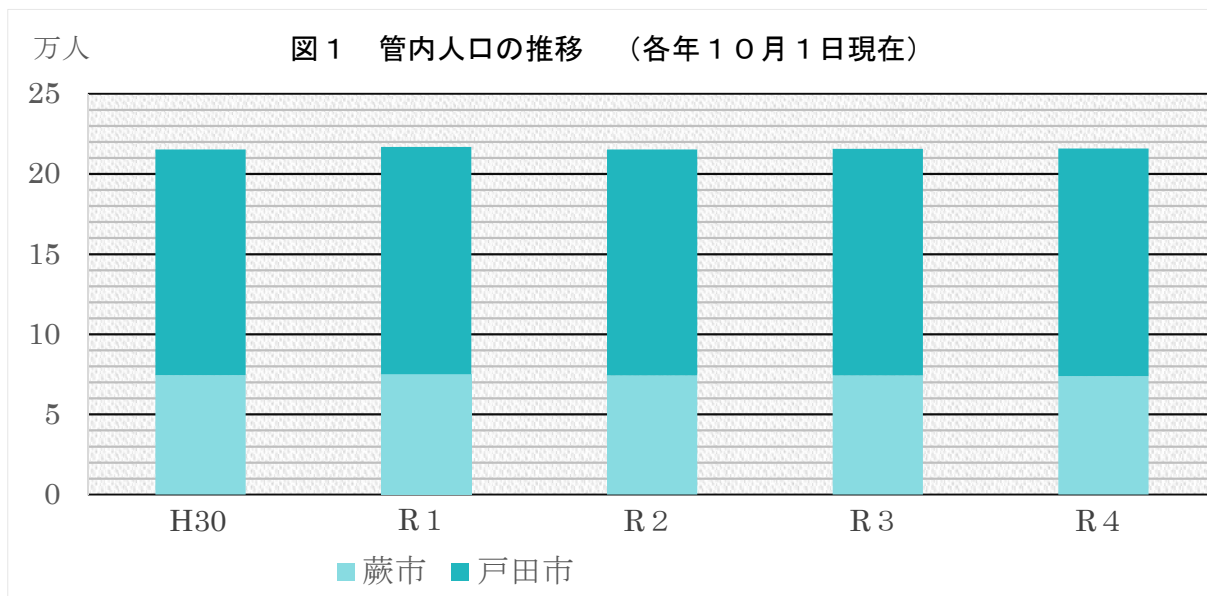
令和4年10月1日現在

	世帯数 (世帯)	人口(人)			面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 人口/km <sup>2</sup>
		総数	男	女		
埼玉県	3,238,212	7,337,173	3,641,725	3,695,448	3,797.75	1,932.0
管内	103,336	215,803	108,847	106,956	23.30	9,261.9
蕨市	37,208	73,916	37,280	36,636	5.11	14,465.0
戸田市	66,128	141,887	71,567	70,320	18.19	7,800.3

資料：令和4年度全国都道府市区町村別面積調(国土地理院)／埼玉県の推計人口(埼玉県総務部統計課)

## (1) 人口の推移

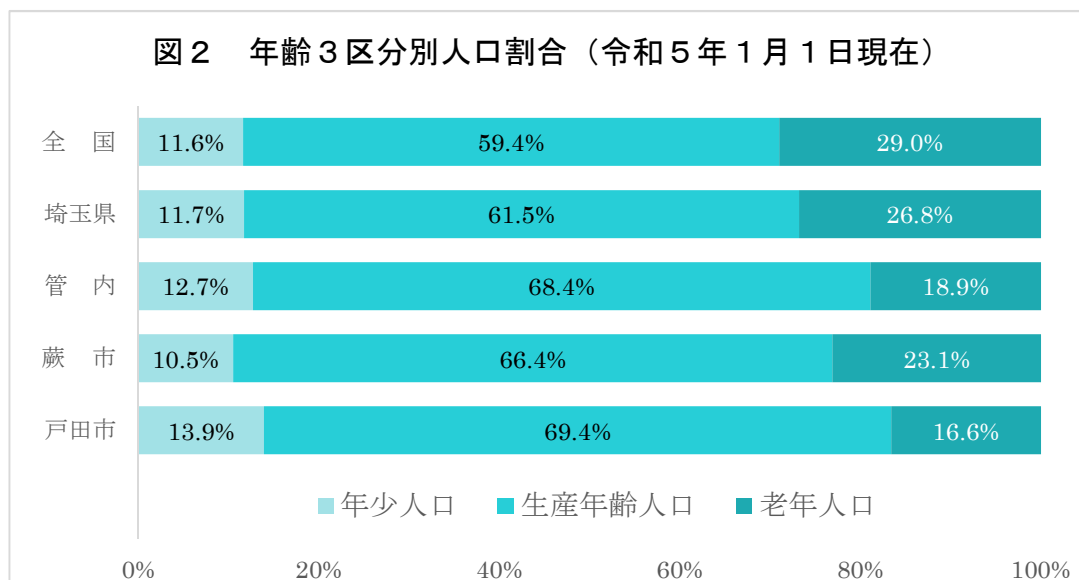
最近5年間の管内人口は、ほぼ横ばいで推移しています。



資料：国勢調査年（令和2年）は「国勢調査」（総務省統計局）、それ以外の年は「埼玉県推計人口」（県統計課）

## (2) 年齢3区分別人口割合（令和5年1月1日現在）

管内の令和5年1月1日現在の年齢3区分別人口割合では、年少人口（15歳未満の人口）が12.7%、生産年齢人口（15歳以上65歳未満の人口）が68.4%、老年人口（65歳以上の人口）が18.9%でした（図2）。全国・埼玉県全体と比較して、管内は年少及び生産年齢人口の割合が高く、老年人口の割合が低くなっています。

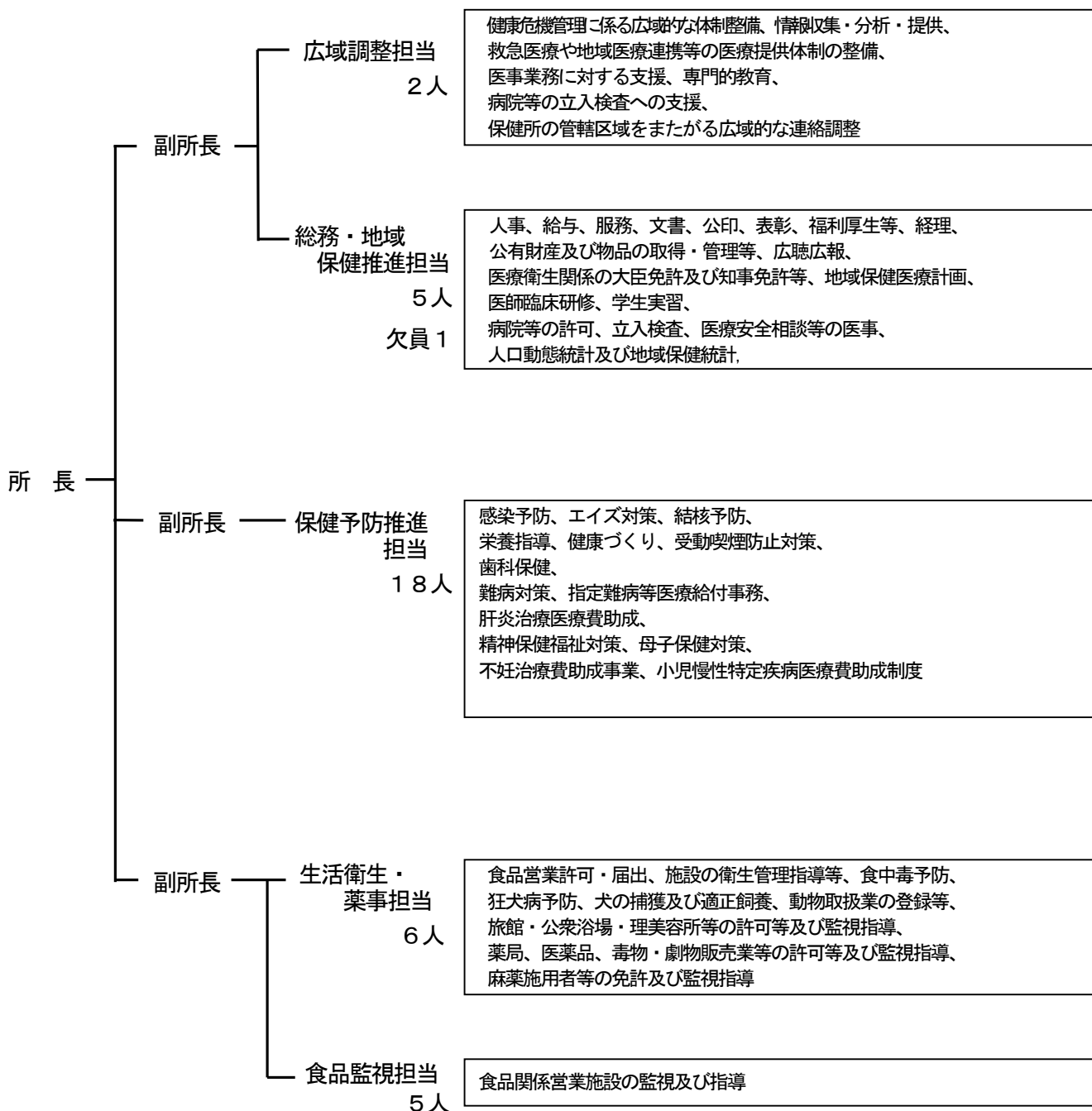


資料 全国：「推計人口（確定値）」（総務省統計局）／埼玉県以下：「埼玉県町（丁）字別人口調査結果報告」（県統計課）

## 2 南部保健所の組織（令和5年度）

### (1) 事務分掌（令和5年7月1日現在）

職員数 40人 ※育休中の職員及び嘱託（会計年度任用職員）を含み、育休代替職員を除く。



(2) 職種別内訳

		合	所	副	広	総	保	生	食
		計	長	所 長	域 調 整 担 当	務・ 地 域 保 健 推 進 担 当	健 予 防 推 進 担 当	活 衛 生 ・ 薬 事 担 当	品 監 視 担 当
職 種 別 内 訳	合 計	40	1	3	2	5	18	6	5
	医 師	2	1	—	1	—	—	—	—
	薬 剤 師	6	—	1	—	—	—	3	2
	獣 医 師	5	—	—	—	—	—	2	3
	管 理 栄 養 士	1	—	—	—	—	1	—	—
	保 健 師	10	—	1	—	—	9	—	—
	精神保健福祉相談員	2	—	—	—	—	2	—	—
	動 物 愛 護 職	1	—	—	—	—	—	1	—
	一 般 事 務	13	—	1	1	5	6	—	—



### 3 南部保健所の沿革

南部保健所は、県内2番目の保健所・川口保健所として、昭和14年11月10日に職員9人で発足しました。爾来80余年、幾度かの組織の変遷を経ながら、住民に身近な地域保健の拠点として活動しています。

年 月	概 要
昭和14年11月	川口市上青木町1の2597番地(現在の上青木西2-14-17)に開設。
昭和25年12月	所管区域は、川口市、鳩ヶ谷町、草加町、新郷村、神根村、芝村、安行村、谷塚村、大門村、野田村、八条村、川柳村、新田村(町村名は当時のもの)。庶務課、衛生課、予防課の3課体制となる。
昭和28年 5月	草加町に出張所を設置し、主として対人保健サービスを実施。
昭和34年 3月	草加町出張所を廃止。
昭和38年 6月	旧庁舎(上青木西)完成。
昭和40年 5月	計画課、保健婦室を新設し、4課1室となる。
昭和42年 5月 (昭和45年 5月)	草加保健所開設により、所管区域が川口市と鳩ヶ谷市の2市となる。 (5月1日 戸田・蕨保健所開設。蕨市と戸田市を所管区域として、中央保健所から分離して発足)。
昭和48年 7月	衛生課を廃止し、食品衛生課及び環境公害課を新設。(5課1室)
昭和51年 9月	環境公害課が環境薬事課に、保健婦室が保健婦課となる。(6課)
昭和55年 4月	食品衛生課と環境薬事課を統合し、衛生課とする。(5課)
平成 3年 4月	計画課を廃止し、地域保健企画担当を新設。(4課1担当)
平成 7年11月	川口市前川1-11-1に現在の庁舎が完成し移転。
平成 9年 4月	課制を廃止し、担当制に移行(庶務担当、地域保健推進担当、保健予防推進担当、生活衛生・薬事担当の4担当)。
平成18年 4月	戸田・蕨保健所と統合。所管区域が川口市、鳩ヶ谷市、蕨市、戸田市の4市となる。 旧戸田・蕨保健所に川口保健所 戸田・蕨分室を設置。 川口保健所(本所)は4担当制、戸田・蕨分室は保健予防推進担当と食品監視担当の2担当制となる。 ※ 食品監視担当は、川口保健所と朝霞保健所の所管区域を担当。
平成19年 4月	庶務担当が総務担当となる。
平成22年 4月	県内4ヶ所の拠点保健所と位置付けられる(他は春日部、狭山、熊谷)。 戸田・蕨分室を廃止。広域調整担当を新設。総務担当と地域保健推進担当を統合し、総務・地域保健推進担当とする。 ※ 広域調整担当は、川口保健所と朝霞保健所の所管区域を担当。
平成23年11月	川口市と鳩ヶ谷市が合併。所管区域が川口市、蕨市、戸田市の3市となる。
平成30年 4月	川口市が中核市に移行し、当庁舎内に川口市保健所を開設したことに伴い、『南部保健所』に名称を変更。所管区域が蕨市、戸田市の2市となる。



## 第2部 担当別事業概要

### I 広域調整担当

本県の保健・医療を取り巻く環境は、県民ニーズが多様化する中で、少子高齢化の急速な進展、生活習慣病の増加など大きく変化しています。特に昨今は、医療従事者不足等による地域医療体制の脆弱化、新興感染症等の大規模な健康危機管理事案の発生、食に関する問題の複雑化など、地域保健上の課題の専門・高度化、広域化が進んでいます。このような中で、保健所のさらなる専門性の向上を図るとともに、管轄区域を越えた保健所相互の連携強化が必要となっています。

このため平成22年度に、川口市、春日部、狭山及び熊谷の4保健所が拠点保健所として位置づけられ、広域調整担当が設置されました。平成30年4月に中核市となった川口市に保健所が開設されましたが、南部保健所広域調整担当の担当区域は、管内の蕨市、戸田市、川口市保健所管内の川口市及び朝霞保健所管内6市1町（朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町）です。各拠点保健所の広域調整担当は連携して、広域的な健康危機管理体制の構築、医事における立入検査及び指導業務に対する専門的かつ技術的な支援、各保健所の管轄区域をまたがる広域的な連絡調整などを担っています。

### 1 広域的な健康危機管理機能

#### (1) 南部地域保健医療圏地域災害保健医療対策会議研修・訓練の開催

日 時	令和4年9月16日（金） 13:30～17:00
場 所	川口市中央ふれあい館
参加者	30名 南部地域保健医療圏地域災害保健医療調整会議（「調整会議※」）委員 ※地域災害医療コーディネーター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、消防、警察、市危機管理部門、市保健衛生部門などにより構成
内 容	「埼玉県南部保健医療圏地域災害対策会議研修・訓練」 1 座学 埼玉県の災害保健医療体制の現状／本研修の目的 2 演習 地域被害状況シミュレーション（DIG） 3 座学 災害保健医療の受援と支援の実際 4 演習 災害時関係機関の初動・連携について（グループワーク） 保健所では大規模災害発生時に地域災害保健医療対策会議（「対策会議」）を設置し、調整会議委員が対策会議委員となり対応に当たることとしている。 対策会議を運営できるようにするための研修及び机上訓練を実施した。 講師 災害医療コーディネーター さいたま赤十字病院 田口 茂正医師 他

## (2) 埼玉県南部保健医療圏地域災害保健医療調整会議の開催

日 時	令和4年10月19日(水)
場 所	書面開催
参加者	30名 埼玉県南部地域保健医療圏地域災害保健医療調整会議委員
内 容	南部保健医療圏における災害時連携病院指定に係る当地域の意見照会

## (3) 健康危機管理訓練・研修の実施

日 時	令和4年11月16日(水) 13:30~16:15
場 所	埼玉県産業技術総合センター 4A・4B・4C会議室
参加者	33名 南部・川口市保健所管内の病院、南部保健所・朝霞保健所・川口市保健所
内 容	「現場(病棟)で考えるBCP」 昨年度、各病院から、看護師・薬剤師・管理栄養師の3名を1チームとして参加いただき、様々な状況への対応方法を話し合いながら、災害時における対応力向上を図るための机上訓練を実施した。昨年度参加した病院に対して、フォローアップ研修を実施した。 講師 川口市立医療センター 副院長 坂田 一美 氏 元副院長 山本 雅博 氏

## (4) 蕨・戸田地区保健医療協議会への参加(書面評決)

地域住民の健康の保持増進のために必要な諸事業の実施と調整を図ることを目的として、戸田・蕨保健所が事務局になり、昭和48年度に発足しました。事務局は平成20年度から蕨市に移管され、平成30年度から蕨市と戸田市が2年交代で担っています。

会 員	蕨戸田市医師会、蕨戸田歯科医師会、獣医師会戸田蕨分会、蕨市地域薬剤師会、戸田市薬剤師会、蕨市及び戸田市の保健衛生・環境・安全・教育・消防関係職員、南部保健所職員
定 例 総 会	令和4年9月8日(木) 新型コロナウイルス感染症の影響により書面での評決とした。

(5) 所内職員対象の南部保健所・朝霞保健所合同通信訓練

日 時	令和4年6月10日(金) 10:00~11:00
参加者	所内職員(新規採用職員2名ほか)
内 容	① 防災行政無線、衛星携帯電話の通信訓練 相手先:朝霞保健所 ② 携帯発動機使用訓練

(6) 蕨戸田市医師会との通信訓練

日 時	令和5年2月20日(月) 14:30~14:35 " 2月21日(火) 10:30~11:45
参加者	南部保健所広域調整担当・蕨戸田市医師会事務局
内 容	① 防災行政無線の通信訓練 相手先:蕨戸田市医師会事務局 ② ①で通信できなかったため再度実施し通信実施

## 2 保健所業務の専門性強化

### (1) 医療機関への立入検査の支援

#### ア 南部保健所管内

実地検査 2病院 1有床診療所

書面審査 7病院

新型コロナウイルス感染症の影響により実地検査は行わず、書面審査を実施しました。

### (2) 保健所別研修の実施

#### ア 在宅医療講演会

日 時	令和4年10月20日(木) 14:00~16:00
場 所	川口駅前市民ホール「フレンディア」
参加者	47名 川口市・蕨市・戸田市に在勤・在住・在学の方
内 容	演題 「人生時会議」ってなに？ 講師 川口市医師会長 金山町たたら内科院長 長江 厚 氏

#### イ 在宅医療研修(多職種連携の会)

日 時	令和5年2月2日(木) 14:00~16:00
場 所	戸田市文化会館 2階 展示室 講演及びワークショップ実施した。
参加者	76名 川口市・蕨市・戸田市内の医師、薬剤師、看護師、介護関係職員等
内 容	1 基調講演 「在宅医療における多職種連携の新世界」 講師 医療法人社団仁真会 辻川ホームクリニック院長 辻川 昭仁 氏  2 ワークショップ 「入退院時の介護と医療の連携について」 参加者が4~6人のグループに分かれ、退院時における事例を通して、退院時に必要とする情報の検討や連携時に実施できることや連携に当たって今後望むこと等を検討した。終了後に代表者2名が発表し辻川医師から講評いただいた。

## Ⅱ 総務・地域保健推進担当

### 1 衛生関係免許事務

県内の各保健所では、県民サービスの向上を目的として、衛生関係の厚生労働大臣及び知事免許等に関する事務を取り扱っています。令和4年度の免許申請等の受理件数は下表のとおりです。

#### (1) 厚生労働大臣免許

区 分	免許申請	名簿訂正 免許書換え	再 交 付	抹 消	計
医 師	11	2	0	1	14
歯 科 医 師	1	2	0	0	3
薬 剤 師	27	10	2	0	39
管 理 栄 養 士	18	13	2	0	33
保 健 師	4	13	0	0	17
助 産 師	6	3	0	0	9
看 護 師	92	69	7	0	168
診療放射線技師	5	2	1	0	8
臨床検査技師	14	3	0	0	17
衛生検査技師	0	1	0	0	1
理学療法士	13	9	0	0	22
作業療法士	10	4	0	0	14
視能訓練士	2	1	0	0	3
計	203	138	13	1	355

#### (2) 埼玉県知事免許

区 分	免許申請	名簿訂正 免許書換え	再 交 付	抹 消	計
調 理 師	36	7	7	0	50
製菓衛生師	3	0	0	0	3
クリーニング師	1	0	0	0	1
准 看 護 師	3	3	2	0	8
栄 養 士	71	10	0	0	81
登録販売者	17	5	0	0	22
計	131	25	9	0	165

#### (3) 他都道府県知事免許

区 分	免許申請	名簿訂正 免許書換え	再 交 付	抹 消	計
准 看 護 師	0	6	1	0	7

## 2 地域保健医療計画の推進

埼玉県地域保健医療計画に基づく南部保健医療圏の重点的な取組を推進するため、管内医師会等の関係団体を構成員とする南部地域保健医療協議会において協議しています。また、同医療圏の県地域医療構想の達成を推進するため、保健医療提供者や行政機関の代表等で構成する南部地域医療構想調整会議を開催して様々な課題等について協議を行っています。

令和4年度は第7次埼玉県保健医療計画や病床整備等の議題について協議を行いました。

### (1) 南部地域医療構想調整会議

構 成 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健医療提供者代表（医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関等）</li> <li>・ 保健医療利用者代表（母子愛育会、食生活改善推進員協議会等）</li> <li>・ 行政機関代表（各市、保健所長等）</li> </ul>
開 催 日 時 及 び 議 事	<p>①令和4年7月26日（火） 13:15～14:45</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度地域医療構想調整会議について</li> <li>・ 外来機能報告に基づく紹介受診重点医療機関の明確化について 等</li> </ul> <p>②令和4年10月21日（金） 13:15～15:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画について 等</li> </ul> <p>③令和5年2月28日（火） 13:15～14:45</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立・公的・民間医療機関における対応方針の策定・検証・見直しについて</li> <li>・ 外来機能報告及び紹介受診重点医療機関について 等</li> </ul>

### (2) 南部地域保健医療協議会 在宅医療部会

協議会の専門部会として、平成25年度から在宅医療部会を設置し、在宅医療・介護連携等の情報共有、研修会及び地域住民向けの講演会を行っています。

#### ア 在宅医療部会の開催

構 成 員	医師会、歯科医師会、薬剤師会、在宅医療関係機関（支援センター、サポートセンター、医療機関、訪問看護ステーション、地域包括支援センター）、行政（各市、保健所長）等 計21名
開 催 日 時 及 び 議 事	<p>令和5年3月 書面開催（新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 在宅医療部会の設置及び部会長等の選任について</li> <li>(2) 令和3年度の在宅医療部会における取組について</li> <li>(3) 令和4年度の在宅医療に係る取組について</li> </ul> <p style="text-align: center;">多職種連携の会 市民向け講演会</p>



イ 在宅医療講演会の開催

地域住民等を対象に、在宅医療に関する啓発を目的として講演会を開催しました。

日 時	令和4年10月20日（木） 14：00～15：45
会 場	川口駅前市民ホール「フレンジア」
参加者	63名
内 容	<p>○ 講演 「人生会議」ってなに？ 講師 川口市医師会会長 金山町たたら内科 院長 長江 厚 氏</p> <p>人生会議の内容、事例や医療機関での終末期の治療、人生会議を始めるためのアドバイス等、在宅医療の現場と実践を踏まえ、大変わかりやすく具体的にお話をいただいた。 講演後の座談会では、一つ一つの質問に丁寧に回答、解説をしていただいた。</p>

ウ 多職種連携の会の開催

関係職員がお互いの職種を理解し、顔の見える関係を築くことを目的として開催しました。

日 時	令和5年2月2日（木） 14：00～16：00
会 場	戸田市文化会館 2階 展示室
参加者	76名
内 容	<p>○ 講演 「在宅医療における多職種連携の新世界」 講師 医療法人社団仁真会 辻川ホームクリニック 院長 辻川 昭仁 氏</p> <p>多職種連携による効果や連携の重要性等について、講師自身の経験を交えて講演いただいた。</p> <p>○ ワークショップ 「入退院時の介護と医療の連携について」</p> <p>4～6人のグループに分かれ、退院時における事例を通して、退院時に必要とする情報の検討や連携時に実施できること、連携に当たって今後望むこと等を検討した。終了後に代表者が発表し、辻川医師に講評をいただいた。</p>

### 3 統計

厚生行政施策の基礎資料を得るために厚生労働省が行っている、人口動態調査をはじめとする各種衛生調査事務を行っています。調査内容は、埼玉県知事（保健医療部保健医療政策課）を通じて厚生労働省に送付されます。なお、結果は厚生労働省や埼玉県（保健医療部保健医療政策課）のホームページから検索することができます。

※ 厚生労働省の統計のページ [http://www.mhlw.go.jp/toukei\\_hakusho/toukei/](http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/)  
 政府統計の総合窓口 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>  
 埼玉県ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/>

保健所が行っている主な統計調査の概要は、次のとおりです。

調査名・調査頻度・最新調査日等	概要
人口動態調査 (毎月)	各市町村に提出された出生、死亡、死産、婚姻及び離婚についての届出に基づいて行われる調査。
国民生活基礎調査 (毎年・抽出調査)	保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項についての調査。3年ごとに大規模な調査を実施し、中間の各年には、世帯の基本的事項及び所得の状況について小規模で簡易な調査を実施。
医師・歯科医師・薬剤師調査 (2年に1度) 令和4年12月31日	医師、歯科医師及び薬剤師について、性、年齢、業務の種類、従事場所及び診療科名（薬剤師を除く。）等による分布を明らかにすることを目的とした調査。
衛生行政報告例 (毎年。項目により2年に1度) 令和4年3月31日	保健所で実施している、衛生関係諸法規の施行に伴う衛生行政についての調査。 精神保健福祉関係、栄養関係、生活衛生関係、食品衛生関係、医療関係、薬事関係、母体保護関係、特定疾患（難病）関係及び狂犬病予防関係等、内容は多岐にわたる。 看護師・保健師・助産師・歯科衛生士等は、2年に1度の調査項目である。
医療施設調査 ①動態調査(毎月) ②静態調査(3年に1度) 令和2年10月1日	病院、診療所及び歯科診療所について、分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療施設の診療機能を把握することを目的とした調査。

なお、令和4年度に行った上記以外の統計調査は下記のとおりです。

- (1) 病院報告（毎月）
- (2) 地域保健・健康増進事業報告（毎年）
- (3) 感染症発生動向調査（毎週・毎月）

## 4 医務

### (1) 医療施設の状況

令和5年3月31日現在

	病院	一般診療所			歯科診療所	助産所	施術所	歯科技工所
		有床	無床	合計				
蕨市	3	—	51	51	38	2	156	12
戸田市	6	1	92	93	63	6	181	19
計	9	1	143	144	101	8	337	30

注：施術所とは、あん摩マッサージ、指圧、はり、きゅう及び柔道整復を行う施設（出張専門を含む）。

### (2) 病院・有床診療所の病床数

令和5年3月31日現在

	病院							診療所	
	施設数	病床数 総数	病					有床 施設数	病床数
			一般	療養	精神	結核	感染症		
蕨市	3	236	130	106	—	—	—	—	
戸田市	6	1,508	713	245	550	—	—	1	
計	9	1,744	843	351	550	—	—	1	

### (3) 事務処理状況

令和4年度

	病院	診療所	歯科診療所	助産所	施術所	歯科技工所	計
開設許可	—	7	—	—	—	—	7
使用許可	8	—	—	—	—	—	8
開設届等	—	10	4	—	16	1	31
廃止届等	—	12	6	—	16	—	34
上記以外の 許可・届出等	20	52	64	—	23	—	159

注：1 開設届等には、再開届及び出張業務開始届を含む。

2 廃止届等には、死亡届及び休止届を含む。

3 施術所とは、あん摩マッサージ、指圧、はり、きゅう及び柔道整復を行う施設（出張専門を含む）。

### (4) 救急告示医療機関数

令和5年3月31日現在

区分	蕨市	戸田市
病院	1	4
診療所	—	1

## (5) 救急医療体制

令和4年4月1日現在

### ア 川口地区（川口市）

- |                |                 |                |
|----------------|-----------------|----------------|
| (ア) 初期救急医療体制   | ① 在宅当番医         | 川口市医師会         |
|                | ② 在宅歯科当番医       | 川口歯科医師会        |
| (イ) 第二次救急医療体制  | 病院群輪番制          | (12病院)         |
| (ウ) 第三次救急医療体制  | 埼玉県救命救急センター     | (川口市立医療センター内)  |
| (エ) 小児夜間救急医療体制 | ① 川口市こども夜間救急診療所 |                |
|                | ② 小児救急医療支援事業    | (3病院)          |
| (オ) 救急医療情報システム | 埼玉県救急医療情報センター   | (埼玉県県民健康センター内) |

### イ 蕨・戸田地区（蕨市・戸田市）

- |                |                           |                |
|----------------|---------------------------|----------------|
| (ア) 初期救急医療体制   | ① 休日・平日夜間急患診療所            |                |
|                | (社)蕨戸田市医師会立蕨休日・平日夜間急患診療所  |                |
|                | (社)蕨戸田市医師会立戸田休日・平日夜間急患診療所 |                |
|                | ② 在宅当番医（産婦人科）             | (2病院5診療所)      |
|                | 診療日：日曜日・祝日・休日・年末年始        |                |
| (イ) 第二次救急医療体制  | 病院群輪番制                    | (4病院)          |
| (ウ) 第三次救急医療体制  | 埼玉県救命救急センター               | (川口市立医療センター内)  |
| (エ) 小児夜間救急医療体制 | 小児救急医療支援事業                | (2病院)          |
| (オ) 救急医療情報システム | 埼玉県救急医療情報センター             | (埼玉県県民健康センター内) |

## (6) 救急医療対策協議会の開催

### ア 川口地区救急医療対策協議会

構 成 員 医師会役員、歯科医師会長、救命救急センターを設置する病院代表、  
救命救急センター長、病院群輪番制病院代表、市長、市消防長、保健所長  
計 16人

開催日時 令和5年2月3日(金)

内 容 (1) 川口地区救急医療活動の現況について

- ① 川口市消防局救急活動状況 ② 川口市における救急医療体制  
(2) 災害時に備えた活動について  
(3) その他

### イ 埼玉県蕨・戸田地区救急医療対策協議会

構 成 員 医師会役員、歯科医師会長、救命救急センター長、  
病院群輪番制病院代表、各市長、各市消防長、保健所長 計 12人

開催日時 令和5年1月23(月)

内 容 (1) 蕨・戸田地区の救急医療の現況について

- ①救急活動状況について ②小児救急及び休日平日夜間医療利用状況について  
③病院群輪番制病院等の現状について  
(2) 災害時に備えた活動について  
① 南部保健医療圏地域災害時保健医療調整会議について  
② 災害時連携病院の指定について  
③ 南部保健医療圏災害時小児周産期医療体制検討委員会について

(7) 医療安全相談

医療に関する苦情や相談への対応及び医療機関の情報を提供しました。

令和4年度相談受付件数 36件

(8) 医療関係従事者数

医師・歯科医師・薬剤師の数値は令和2年12月31日現在  
保健師以下の職種の数値は平成30年12月31日現在

単位：人

区分	管内	蕨市	戸田市	埼玉県
医師	333	69	264	13,604
歯科医師	175	59	116	5,575
薬剤師	409	135	274	16,370
保健師	109	23	86	2,219
助産師	79	23	56	1,692
看護師	1,410	214	1,196	50,844
准看護師	298	84	214	13,967
歯科衛生士	205	87	118	6,284
歯科技工士	32	19	13	1,136

資料 医師・歯科医師・薬剤師：「医師・歯科医師・薬剤師統計」（厚生労働省）  
保健師以下の職種：「医療関係従事者届集計結果」（埼玉県保健医療部医療整備課）

注1 隔年調査

注2 就業者数は就業地により届出のあった数値

## 5 医師臨床研修

研修医が、医師としての人格を涵養し、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識し、①保健所の役割を理解すること ②臨床の中での地域保健・公衆衛生活動全般とのつながりを理解すること ③地域保健分野の人材養成に資することを目的として実施する臨床研修です。

令和4年度は、さいたま赤十字病院から2名の研修医が参加しました（令和4年9月26日～30日）。

## 6 学生実習

医師・保健師・管理栄養士などの専門職の育成を支援するため、大学から実習生を受け入れ、公衆衛生活動の実務について実習指導を行うものです。

令和4年度の実施状況は、下表のとおりです。

学 校 名	人 数	実 習 期 間
人間総合科学大学保健医療学部	6人	令和4年5月9日～13日（3人） 令和4年5月16日～20日（3人）
日本保健医療大学保健医療学部	4人	令和4年6月6日～10日（2人） 令和4年6月13日～17日（2人）
防衛医科大学校看護学科	30人	令和4年4月28日
十文字学園女子大学人間生活学部	3人	令和4年10月18日～28日
女子栄養大学栄養学部	3人	令和4年10月18日～28日

## 7 健康長寿のための埼玉県地域・職域連携推進事業

生活習慣病予防対策を総合的に推進するため、地域保健と職域保健の連携をより一層強化して、効果的な健康長寿体制の構築を図っています。

なお、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一部事業の実施を見合わせました。

### (1) 市町村健康長寿のための情報担当者会議等の開催

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、集合型での会議は実施せずメールによるヒアリングの実施、情報の還元を行いました。

### (2) 効果的な保健指導実施支援事業

保健指導実施支援研修会

日 時	令和4年11月29日(火) 13:30~15:30
場 所	南部保健所 大会議室
参加者	4名(管内市担当者)
内 容	国保・後期高齢者ヘルスサポート事業拠点保健所別研修会 ・説明 「データヘルス計画の評価等に活用できるデータについて」 説明者 埼玉県国民健康保険団体連絡会 ・情報交換 「第2期データヘルス計画等の最終評価等に向けた準備について」 ※ 拠点保健所別のグループに分かれて実施 助言者 帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授 福田 吉治 氏

### (3) 健康長寿サポーター養成に関する支援

日 時	令和4年4月28日(木)
場 所	南部保健所 大会議室
参加者	看護系及び栄養系保健所臨地実習生 51名
内 容	健康長寿サポーター養成講座 講師 南部保健所職員

### Ⅲ 保健予防推進担当

#### 1 感染症予防

保健所では「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下、「法」という）に基づき、一類から五類までの感染症の法的対応、発生動向の把握、予防、まん延防止等に努めています。

##### (1) 感染症対策

ア 感染症患者発生・対応状況

令和4年度 単位：件

分類	病名	発生件数 (※2)	対応件数 (※3)
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6	9
	腸チフス	0	1
	細菌性赤痢	0	1
四類感染症	エムポックス	1	1
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	3
	梅毒	9	9
	劇症型溶血性レンサ球菌	1	1
	急性脳炎	1	1
	百日咳	2	2

※1 一類及び二類感染症（結核・新型コロナウイルス感染症を除く）の発生はない。

※2 感染症発生動向調査による。

※3 他保健所からの依頼分、検査の結果取り下げとなった分を含む。



イ 新型コロナウイルス感染症患者発生・対応状況

令和2年2月7日、新型コロナウイルス感染症を「指定感染症」として定める等の政令等が施行されました。その後、令和3年2月13日に法の改正により、法的位置付けについては「新型コロナウイルス感染症」に変更されています。

再度の法の改正により、令和4年9月26日からは「全数把握」から「4類型のみ報告」に変更され、報告対象が限定化されました。

令和4年度 単位：件

病 名	発生件数	対応件数（※）
新型コロナウイルス感染症	34,476	34,881 (うち発生届対象外者：15,954)

※ 管外居住陽性者、発生届対象外者を含む。

月別発生件数

令和4年度 単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3,674	1,442	970	9,554	11,898	3,891	262	652	1,025	867	193	48	34,476
第6波			第7波			第8波						

※ 管外居住陽性者、発生届対象外者を含まない。

患者の療養先

令和4年度 単位：人

自宅療養	宿泊療養	入院	合計
32,616	870	990	34,476

※ 宿泊療養、入院を1泊医療利用した患者は自宅療養には含まれない。

患者の療養先（発生届対象外者）

令和4年度 単位：人

自宅療養	宿泊療養	合計
15,310	644	15,954

※ 宿泊療養を1泊医療利用した患者は自宅療養には含まれない。

### ウ 感染症診査協議会

法第24条（感染症の診査に関する協議会）に基づき設置されています。感染症発生時の患者等への就業制限、入院勧告、入院勧告の延長及び法第37条の2（結核患者の医療）の通院医療費公費負担申請についての保健所長の諮問に対し、診査と答申を行います。

令和4年度の診査協議会委員の構成は、感染症指定医療機関の医師1名、感染症指定医療機関以外の医師1名及び弁護士1名の3名でした。

#### 感染症診査協議会診査状況

※条項は感染症法

令和4年度

開催日数	出席委員数 (延べ人数)	就業制限 (第18条)	応急入院 (第19条)	入院勧告 (第20条第1項)	入院勧告延長 (第20条第4項)	結核患者の医療 (第37条の2)
24日	72名	36,092件	1,246件	1,016件	797件	52件
結核(再掲)		10件	10件	10件	17件	52件

### エ 管内感染症担当者会議

健康に重大な影響を及ぼす感染症が発生した場合に備え、管内の関係機関と連携を図るとともに、早期に対応が行える体制を整備することを目的として実施しています。

開催日	令和4年12月15日(木)
参加者	32名 (管内の 医師会、病院、診療所、消防本部、市保健センター、保健所 の職員)
内容	新型コロナウイルス感染症への対応に関する報告 (1) 患者発生状況(第6波~7波)と保健所における陽性者への対応状況 (2) 蕨・戸田地域における在宅医療の状況 (3) 高齢者施設におけるクラスターへの対応

### オ 感染症対策研修会

感染症危機管理対策の一環として、新型インフルエンザ等の発生時に備えるため訓練を実施しています。令和4年度は、オンライン併用で高齢者施設向けの新型コロナウイルス感染症に関する研修会を開催しました。

開催日	令和4年12月8日(木)
参加者	7名(オンライン参加:21施設) (管内の 高齢者施設、保健所 の職員)
内容	新型コロナウイルス感染症に関する報告と講義 (1) 管内の施設における感染状況と保健所の対応について (2) 施設における感染症対策の基本について (3) 個人防護具の着脱訓練

## (2) 結核対策

保健所では、結核患者への入院勧告・医療費公費負担等の法的対応とともに、服薬支援を中心とした療養支援、その家族・接触者に対する健康診断の実施による感染拡大の防止等、結核対策を重要な事業として、その対応に努めています。

(以下、ア～オの表は厚生労働省の統計(年計)による。また、埼玉県の数値にさいたま市は含まない。)

### ア 結核患者登録者数(潜在性結核感染症を除く)

令和4年12月31日現在、法に基づく当所の結核患者登録数は74人でした。

令和4年12月31日現在 単位：人

年齢層	登録者計	活動性結核								不活動性結核	活動性不明
		計	肺結核活動性						肺外結核活動性		
			計	登録時喀痰塗抹陽性				登録時 その他 菌陰性 その他			
				計	初回治療	再治療	登録時 その他 菌陽性				
計	54	19	15	5	5	0	5	5	4	29	6
0 - 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 - 9	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
10 - 14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 - 19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 - 24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
25 - 29	7	1	1	0	0	0	0	1	0	6	0
30 - 34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 - 39	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
40 - 44	5	2	2	1	1	0	0	1	0	2	1
45 - 49	4	2	2	0	0	0	1	1	0	0	2
50 - 54	4	3	3	1	1	0	1	1	0	1	0
55 - 59	5	1	1	0	0	0	1	0	0	3	1
60 - 64	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
65 - 69	5	1	0	0	0	0	0	0	1	3	1
70 - 74	3	1	1	1	1	0	0	0	0	2	0
75 - 79	3	2	2	1	1	0	1	0	0	1	0
80 - 84	5	1	1	1	1	0	0	0	0	4	0
85 - 89	6	2	0	0	0	0	0	0	2	3	1
90 以上	3	2	2	0	0	0	1	1	0	1	0
埼玉県	1,266	301	225	119	114	5	72	34	76	575	390
全国	24,555	6,782	4,962	2,411	2,301	110	1,909	642	1,820	13,072	4,701

イ 新規患者登録数（潜在性結核感染症を除く）

令和4年中、新たに登録された管内の結核患者は26人でした。令和3年中の新規登録者数19人と比して7人増加しました。

令和4年 単位：人

年齢階層	活動性結核								
	計	肺結核活動性						結核菌陰性 その他	肺外結核 活動性
		計	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性			
			計	初回治療	再治療				
計	26	19	8	7	1	5	6	7	
0 - 4	1	0	0	0	0	0	0	1	
5 - 9	0	0	0	0	0	0	0	0	
10 - 14	0	0	0	0	0	0	0	0	
15 - 19	0	0	0	0	0	0	0	0	
20 - 24	1	1	1	1	0	0	0	0	
25 - 29	1	1	0	0	0	0	1	0	
30 - 34	0	0	0	0	0	0	0	0	
35 - 39	0	0	0	0	0	0	0	0	
40 - 44	1	1	0	0	0	0	1	0	
45 - 49	1	1	0	0	0	0	1	0	
50 - 54	3	3	1	1	0	1	1	0	
55 - 59	1	1	0	0	0	1	0	0	
60 - 64	1	1	1	1	0	0	0	0	
65 - 69	1	1	0	0	0	0	1	0	
70 - 74	2	1	1	1	0	0	0	1	
75 - 79	2	2	1	1	0	1	0	0	
80 - 84	3	2	1	1	0	1	0	1	
85 - 89	3	0	0	0	0	0	0	3	
90 以上	5	4	2	1	1	1	1	1	
埼玉県	461	351	191	185	6	108	52	110	
全 国	10,235	7,454	3,703	3,562	141	2,826	925	2,781	

ウ 登録時活動性分類別結核新登録患者数（潜在性結核感染症を除く）

管内における登録時の肺結核喀痰塗抹陽性者の割合は30.77パーセントでした。

令和4年 単位：人

登録時状況	管内	埼玉県	全 国
肺結核喀痰塗抹陽性	8	191	3,703
肺結核その他の菌陽性	5	108	2,826
肺結核菌陰性・その他	6	52	925
肺外結核	7	110	2,781
計	26	461	10,235

エ 結核新規登録患者（潜在性結核感染症を除く）

当所管内の令和4年の結核罹患率は、人口10万対12.0人で、前年比で3名増えました。年齢層別では、80歳以上の方が、全体の4割を超えていました。29歳以下では、罹患した全員が外国生まれの方でした。

令和4年 単位：人（）：外国生まれ

年齢層	人数	内 訳		罹患率（人口10万対）※		
		蕨市	戸田市	管内	蕨市	戸田市
0～9歳	1（1）	1（1）	0	5.4	19.0	0.0
10～19歳	0	0	0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	2（2）	0	2（2）	6.6	0.0	10.2
30～39歳	0	0	0	0.0	0.0	0.0
40～49歳	2	1	1	5.8	9.2	4.2
50～59歳	4（2）	2（1）	2（1）	12.6	18.8	9.4
60～69歳	2	1	1	10.1	12.8	8.3
70～79歳	4	2	2	21.4	25.4	18.5
80歳以上	11	3	8	83.5	51.0	109.9
全年齢	26（5）	10（2）	16（3）	12.0	13.3	11.3
埼玉県	461			6.3		
全国	10,235			8.1		

※ 令和4年4月1日現在の人口を用いて算出。

オ 潜在性結核感染症登録数

結核患者発生に伴う接触者健康診断（後述）の結果などから、発病を予防するために治療が必要と診断されると「潜在性結核感染症」として登録されます。

療養支援等、保健所の関わりは発病した結核患者に対するものと変わりませんが、国の統計上は別掲として取り扱われます。

単位：人

	令和4年	令和3年
管内	8	9
埼玉県	237	235
全国	5,025	5,140

カ 結核健康診断実施状況

結核と診断された者の接触者（家族、友人、職場同僚等）及び結核治療終了後の経過観察中の患者を対象として、IGRA検査、胸部エックス線検査等の検査を実施しました。

(ア) 接触者健診

①接触者健康診断受診者数（延べ人数） 令和4年度 単位：人

実施機関	健診内容		
	ツベルクリ反応検査	IGRA検査	胸部エックス線検査
保健所	0	126	0
委託医療機関	4	22	24
その他医療機関	0	11	39
合計	4	159	63

②患者発見者数 令和4年度

活動性結核	4人
潜在性結核感染症	7人

(イ) 管理健診

②管理健診受診者数（延べ人数） 令和4年度 単位：人

	胸部エックス線検査	喀痰検査
委託医療機関	18	0
その他医療機関	69	0
合計	87	0

キ DOTS（直接服薬確認療法）実施状況

結核患者の治療完了を目的とした服薬支援を行っています。

患者自身や患者を取り巻く状況を考慮し、最適な服薬支援ができるようカンファレンスを行い、DOTSを実施しました。

令和4年度

DOTSカンファレンス		DOTS	
実施回数	検討数	対象者数	延べ件数
20回	33件	48人	378件

DOTS内訳（延べ数）：電話246件、訪問21件、来所22件、郵送89件

ク 結核相談実施状況

令和4年度

訪問	面接	電話
実件数	延べ件数	延べ件数
39件	53件	1,124件

### (3) 性感染症・B型/C型肝炎・HTLV-1対策

保健所では、性感染症・B型/C型肝炎・HTLV-1に関する健康相談や検査を実施することで、予防や患者及び感染者の早期発見に努めています。

当所では、毎月第一水曜日にHIVの即日検査、第三火曜日に性感染症の通常検査を実施しています。

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症流行に伴い、通常検査及び即日検査共に予約人数を8名までとし実施しましたが、事務手続きの縮小に伴い令和4年11月からは15人、令和5年2月からは20人に予約人数を拡大しました。なお、令和4年4、5月においては通常及び即日検査共に中止しました。

相談・検査件数

令和4年度 単位：件

検査件数（延べ件数）		計	男 性	女 性
HIV（エイズ）	通 常	111	77	34
	即 日	38	27	11
梅毒		111	77	34
クラミジア		111	77	34
HBV（B型肝炎）		108	76	32
HCV（C型肝炎）		108	76	32
HTLV-1		1	0	1
相談件数（電話・面接 延べ件数）				523

## 2 母子保健

### (1) 母子保健訪問指導状況

令和4年度 単位：人

	計		妊産婦		未熟児を除く新生児		未熟児		未熟児・新生児を除く乳児		幼児		その他	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
実施数	12	32	0	0	0	0	0	0	1	10	11	22	0	0

※ 未熟児訪問指導の実施主体は、平成25年度から市へ移譲されました。

### (2) 子どもの心の健康づくり事業

#### ア 子ども心の健康相談

子どもの心の健康問題に対応するため専門相談窓口を開設し、関係機関との連携や事例についての検討も重ね、次世代を担う子どもの健全育成を図ることを目的として実施しました。

令和4年度 単位：件

令和4年度相談件数	計	蕨市	戸田市
		17	12

【主な相談内容】発達障害、不登校、暴力、学校での生活、感情コントロール等

#### イ 子ども心のネットワーク事業

##### (ア) ケースカンファレンス（事例検討会）

日 程	令和4年10月19日（水）
場 所	南部保健所 大会議室
参 加 者	23名 (小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭 教育委員会・保健センター・児童福祉課・児童相談所・保健所 職員)
内 容	ケースカンファレンス（事例検討会） 「解離症状のある児童の支援について」 ～家族全体の関係性と健康問題から、子どもの心の健康を考える～ 助言者：立教大学現代心理学部 教授 大石 幸二 氏



### (3) ふれあい親子支援事業

子育てに悩む親及び児童虐待のリスクがある子どもと親にかかわる関係者への支援により児童虐待を予防することを目的として、平成12年度から、ふれあい親子支援事業を実施しています。現在は、精神科医及び臨床心理士による個別面接、関係職員による事例検討会を事業内容としています。

スタッフは、精神科医師、臨床心理士、保育士、保健師です。

なお、令和4年度は事例検討会を重点に行い、精神科医師及び臨床心理士による個別相談の実績はありませんでした。

#### 令和4年度実施状況

	実施回数	検討事例数	参加者 延べ人数
事例検討会	5	5	51人

### (4) 長期療養児教室

#### ア 研修会

地域の関係者が医療的ケア児の療養生活を理解し相談スキルを高めることで、医療的ケア児が健やかに心身の発育発達ができることを目的に研修会を実施しました。

日 程	令和4年10月19日(水)
場 所	南部保健所 大会議室
参 加 者	23名 (小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭 教育委員会・保健センター・児童福祉課・児童相談所・保健所 職員)
内 容	ケースカンファレンス(事例検討会) 「解離症状のある児童の支援について」 ～家族全体の関係性と健康問題から、子どもの心の健康を考える～ 助言者：立教大学現代心理学部 教授 大石 幸二 氏

## (5) 妊娠期からの虐待予防強化事業

平成19年度から実施してきた、総合及び地域周産期医療センターと地域機関の連携による「周産期からの虐待予防強化事業」を発展させ、平成28年度からは全ての産婦人科医療機関から支援が必要と判断される事例を早期に把握、地域機関と連携し育児不安等を軽減させ、児童虐待の予防を図ることを目的として、「妊娠期からの虐待予防強化事業」を開始しました。

妊娠期からの虐待予防強化事業が開始されたことに伴い、産婦人科医療機関からの連絡票は、直接市町村保健機関へ通知されるようになりました。

### ア 養育支援連絡票等受理件数

令和4年度 単位：件

様式	管内合計	蕨市	戸田市
養育支援連絡票	164	59	105
その他様式	43	5	38

### イ 研修会等実施状況

妊娠期からの虐待予防強化事業を円滑に推進し、支援が必要なハイリスク事例を、医療機関と地域機関が早期から連携した支援を行い児童虐待予防に資するため、支援者の技術向上と、より円滑な連携の促進を目的とした研修会や連絡会議を実施しています。

#### (ア) 1回目

日時	令和4年11月1日(火)
場所	戸田市福祉保健センター
参加者	22名 市保健センター・助産院・保健所 職員
内容	EPDS等3シートを用いた事例報告への助言及び解説 産後の母親のメンタルヘルス支援 ～ケースレビューとアセスメントのポイント～ 助言及び解説者 きむらメンタルクリニック院長 精神科医師 木村武人先生 カウンセリングルームベア代表 臨床心理士・公認心理士 田熊喜代巳先生

#### (イ) 2回目

日時	令和5年1月17日(火)
場所	蕨市保健センター
参加者	11名 市保健センター・助産院・保健所 職員
内容	テーマ 母親のメンタルヘルス支援 ～母子を支える視点と知識～ 講義「母親を支援するための面接の基本」 カウンセリングルームベア代表 臨床心理士・公認心理士 田熊喜代巳先生 講義「機能不全家族における母子について～家族機能の視点から～」 きむらメンタルクリニック院長 精神科医師 木村武人先生

## (6) 保健所別連携調整会議

管内の母子保健に関する情報交換等を行うことで業務の円滑化を図ると共に、母子保健業務に係る保健師の対応技術の向上を目的とした連携調整会議を例年実施しています。

また、家族の関係性や健康問題が複雑なハイリスク事例に対する保健師の個別支援スキルの向上を目指した人材育成研修も例年実施しています。どちらも、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

## (7) 母子保健医療給付事業

妊産婦の療養援護及び児童の健全育成と福祉の向上を図るため、医療費の助成を行いました。

### ア 小児慢性特定疾病医療費助成制度（根拠法令：児童福祉法第19条の2）

小児慢性特定疾病の治療研究を推進し治療法の確立と普及を図るとともに、医療費の負担を軽減するため医療費の助成を行いました。

小児慢性特定疾病医療給付受給者数 令和5年3月31日現在 単位：人

病名	計	蕨市	戸田市
悪性新生物	30	5	25
慢性腎疾患	8	1	7
慢性呼吸器疾患	6	1	5
慢性心疾患	38	5	33
内分泌疾患	32	3	29
膠原病	9	1	8
糖尿病	15	1	14
先天性代謝異常	7	3	4
血液疾患	11	2	9
免疫疾患	2	2	0
神経・筋疾患	10	1	9
慢性消化器疾患	13	5	8
染色体及び遺伝子に変化を伴う症候群	6	1	5
皮膚疾患	0	0	0
骨系統疾患	4	0	4
脈管系疾患	0	0	0
計	191	31	160

### イ 妊娠中毒症等療養援護（根拠規定：埼玉県妊娠中毒症等療養援護費支給要領）

令和4年度 0人

### ウ 結核児童療育医療給付（根拠法令：児童福祉法第20条）

結核に罹患し、入院治療を要する児童に対して、医療と学習用品・日用品を給付します。

令和4年度 0人

**(8) 不妊治療費助成事業**

不妊に悩む夫婦の不妊治療による経済的負担を軽減し受療機会を増やすことで、少子化対策及び次世代育成支援の推進を図ることを目的として、平成16年度から開始しました。併せて、不妊に関する相談も実施しています。

平成27年度からは男性不妊治療費助成を開始し、令和元年度からは男性不妊の初回治療に係る助成が拡充されました。令和2年度の申請件数は2件でした。

また、令和3年1月1日以降の治療終了分から、助成要件及び内容が変更になりました。

令和4年度 単位：件

特定不妊治療費助成件数	計	蕨市	戸田市
	112	29	83

**(9) 受胎調節実地指導員指定（母体保護法第15条第1項）**

令和4年度 0人

### 3 難病

#### (1) 医療費の公費負担

いわゆる難病のうち、特定の疾患[指定難病、県単独指定難病、先天性血液凝固因子欠乏症(20歳以上)等]に対して医療給付を行い、適正な医療の普及と医療費の負担軽減を図りました。

ア 指定難病医療給付受給者延べ人数

令和5年3月31日現在 単位：人

	病 名	受給者数
001	球脊髄性筋萎縮症	0
002	筋萎縮性側索硬化症	19
003	脊髄性筋萎縮症	0
004	原発性側索硬化症	2
005	進行性核上性麻痺	17
006	パーキンソン病	160
007	大脳皮質基底核変性症	3
008	ハンチントン病	1
009	神経有棘赤血球症	0
010	シャルコー・マリー・トゥース病	1
011	重症筋無力症	30
012	先天性筋無力症候群	0
013	多発性硬化症／視神経脊髄炎	47
014	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	4
015	封入体筋炎	1
016	クロー・深瀬症候群	0
017	多系統萎縮症	9
018	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	30
019	ライソゾーム病	7
020	副腎白質ジストロフィー	0
021	ミトコンドリア病	0
022	もやもや病	18
023	プリオン病	0
024	亜急性硬化性全脳炎	0
025	進行性多巣性白質脳症	0
026	HTLV-1関連脊髄症	0
027	特発性基底核石灰化症	0
028	全身性アミロイドーシス	5
029	ウルリッヒ病	0

	病 名	受給者数
030	遠位型ミオパチー	2
031	ベスレムミオパチー	0
032	自己貪食空胞性ミオパチー	0
033	シュワルツ・ヤンペル症候群	0
034	神経線維腫症	5
035	天疱瘡	4
036	表皮水疱症	0
037	膿疱性乾癬（汎発型）	2
038	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1
039	中毒性表皮壊死症	0
040	高安動脈炎	5
041	巨細胞性動脈炎	4
042	結節性多発動脈炎	1
043	顕微鏡的多発血管炎	9
044	多発血管炎性肉芽腫症	4
045	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	13
046	悪性関節リウマチ	7
047	バージャー病	0
048	原発性抗リン脂質抗体症候群	1
049	全身性エリテマトーデス	105
050	皮膚筋炎／多発性筋炎	29
051	全身性強皮症	33
052	混合性結合組織病	15
053	シェーグレン症候群	20
054	成人スチル病	9
055	再発性多発軟骨炎	4
056	ベーチェット病	11
057	特発性拡張型心筋症	7
058	肥大型心筋症	4
059	拘束型心筋症	0
060	再生不良性貧血	9
061	自己免疫性溶血性貧血	4
062	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3
063	特発性血小板減少性紫斑病	22

	病 名	受給者数
064	血栓性血小板減少性紫斑病	0
065	原発性免疫不全症候群	4
066	IgA 腎症	32
067	多発性嚢胞腎	25
068	黄色靭帯骨化症	11
069	後縦靭帯骨化症	42
070	広範脊柱管狭窄症	18
071	特発性大腿骨頭壊死症	13
072	下垂体性 ADH 分泌異常症	3
073	下垂体性 TSH 分泌亢進症	0
074	下垂体性 PRL 分泌亢進症	4
075	クッシング病	1
076	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
077	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	5
078	下垂体前葉機能低下症	34
079	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0
080	甲状腺ホルモン不応症	0
081	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
082	先天性副腎低形成症	0
083	アジソン病	1
084	サルコイドーシス	18
085	特発性間質性肺炎	16
086	肺動脈性肺高血圧症	7
087	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
088	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	9
089	リンパ管筋腫症	4
090	網膜色素変性症	27
091	バッド・キアリ症候群	0
092	特発性門脈圧亢進症	0
093	原発性胆汁性胆管炎	20
094	原発性硬化性胆管炎	0
095	自己免疫性肝炎	8
096	クローン病	74
097	潰瘍性大腸炎	215

	病 名	受給者数
098	好酸球性消化管疾患	1
099	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
103	CFC 症候群	0
104	コステロ症候群	0
105	チャージ症候群	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
107	若年性特発性関節炎	0
108	TNF 受容体関連周期性症候群	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
110	ブラウ症候群	0
111	先天性ミオパチー	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0
113	筋ジストロフィー	8
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0
116	アトピー性脊髄炎	0
117	脊髄空洞症	1
118	脊髄髄膜瘤	0
119	アイザックス症候群	0
120	遺伝性ジストニア	0
121	神経フェリチン症	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0
126	ペリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0
130	先天性無痛無汗症	0
131	アレキサンダー病	0



	病 名	受給者数
132	先天性核上性球麻痺	0
133	メビウス症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0
135	アイカルディ症候群	0
136	片側巨脳症	0
137	限局性皮質異形成	0
138	神経細胞移動異常症	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0
140	ドラベ症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0
144	レノックス・ガストー症候群	0
145	ウエスト症候群	0
146	大田原症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0
150	環状 20 番染色体症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0
152	PCDH19 関連症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0
156	レット症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1
158	結節性硬化症	1
159	色素性乾皮症	0
160	先天性魚鱗癬	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	7
163	特発性後天性全身性無汗症	2
164	眼皮膚白皮症	0
165	肥厚性皮膚骨膜症	0

	病 名	受給者数
166	弾性線維性仮性黄色腫	0
167	マルファン症候群	0
168	エーラス・ダンロス症候群	0
169	メンケス病	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0
171	ウィルソン病	1
172	低ホスファターゼ症	0
173	VATER 症候群	0
174	那須・ハコラ病	0
175	ウィーバー症候群	0
176	コフィン・ローリー症候群	0
177	ジュベール症候群関連疾患	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0
179	ウィリアムズ症候群	0
180	A T R-X 症候群	0
181	クルーゾン症候群	0
182	アペール症候群	0
183	ファイファー症候群	0
184	アントレー・ビクスラー症候群	0
185	コフィン・シリス症候群	0
186	ロスマンド・トムソン症候群	1
187	歌舞伎症候群	0
188	多脾症候群	0
189	無脾症候群	0
190	鰓耳腎症候群	0
191	ウェルナー症候群	0
192	コケイン症候群	0
193	プラダー・ウィリ症候群	2
194	ソトス症候群	0
195	ヌーナン症候群	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0
197	1p36 欠失症候群	0
198	4p 欠失症候群	0
199	5p 欠失症候群	0

	病 名	受給者数
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
201	アンジェルマン症候群	0
202	スミス・マギニス症候群	0
203	22q11.2欠失症候群	0
204	エマヌエル症候群	0
205	脆弱X症候群関連疾患	0
206	脆弱X症候群	0
207	総動脈幹遺残症	0
208	修正大血管転位症	0
209	完全大血管転位症	0
210	単心室症	0
211	左心低形成症候群	0
212	三尖弁閉鎖症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
215	ファロー四徴症	0
216	両大血管右室起始症	0
217	エプスタイン病	0
218	アルポート症候群	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0
222	一次性ネフローゼ症候群	24
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1
224	紫斑病性腎炎	1
225	先天性腎性尿崩症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	0
227	オスラー病	0
228	閉塞性細気管支炎	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1
230	肺胞低換気症候群	0
231	$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	0
232	カーニー複合	0
233	ウォルフラム症候群	0

	病 名	受給者数
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0
235	副甲状腺機能低下症	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
240	フェニルケトン尿症	0
241	高チロシン血症1型	0
242	高チロシン血症2型	0
243	高チロシン血症3型	0
244	メープルシロップ尿症	0
245	プロピオン酸血症	0
246	メチルマロン酸血症	0
247	イソ吉草酸血症	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0
249	グルタル酸血症1型	0
250	グルタル酸血症2型	0
251	尿素サイクル異常症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0
253	先天性葉酸吸収不全	0
254	ポルフィリン症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0
256	筋型糖原病	0
257	肝型糖原病	0
258	ガラクトースー1ーリン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
260	シトステロール血症	0
261	タンジール病	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0
263	脳髄黄色腫症	0
264	無βリポタンパク血症	0
265	脂肪萎縮症	2
266	家族性地中海熱	0
267	高IgD症候群	0

	病 名	受給者数
268	中條・西村症候群	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
271	強直性脊椎炎	12
272	進行性骨化性線維異形成症	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
274	骨形成不全症	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0
276	軟骨無形成症	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	0
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	0
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
283	後天性赤芽球癆	0
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
285	ファンコニ貧血	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
287	エプスタイン症候群	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
289	クロンカイト・カナダ症候群	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	0
292	総排泄腔外反症	0
293	総排泄腔遺残	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0
296	胆道閉鎖症	1
297	アラジール症候群	0
298	遺伝性瘵炎	0
299	嚢胞性線維症	0
300	I g G 4 関連疾患	2
301	黄斑ジストロフィー	2

	病 名	受給者数
302	レーベル遺伝性視神経症	0
303	アッシャー症候群	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0
305	遅発性内リンパ水腫	0
306	好酸球性副鼻腔炎	4 4
307	カナバン病	0
308	進行性白質脳症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0
310	先天異常症候群	1
311	先天性三尖弁狭窄症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0
313	先天性肺動脈狭窄症	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）/LMX 1B 関連腎症	0
316	カルニチン回路異常症	0
317	三頭酵素欠損症	0
318	シトリン欠損症	0
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0
320	先天性グリコシルホスファジリノシトール（GPI）欠損症	0
321	非ケトシース型高グリシン血症	0
322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
324	メチルグルタコン酸尿症	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0
326	大理石骨病	0
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	0
328	前眼部形成異常	0
329	無虹彩症	0
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	0
331	特発性多中心性キャッスルマン病	1
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
334	脳クレアチン欠乏症候群	0
335	ネフロン癆	0

	病 名	受給者数
336	家族性低βリポタンパク血症1（ホモ接合体）	0
337	ホモシスチン尿症	1
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
特定	スモン	0
特定	難治性肝炎のうち劇症肝炎	0
特定	重症急性膵炎	0
特定	プリオン病（ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。）	0
県単	溶血性貧血（県指定）	0
県単	橋本病	0
県単	特発性好酸球増多症候群（県指定）	0
県単	脊髄空洞症（県指定）	0
県単	原発性慢性骨髄線維症	2
指 定 難 病 計		1, 395
特 定 疾 患 計		0
県 単 独 難 病 計		3
合 計		1, 398

令和5年3月31日現在 単位：人

指定難病医療給付 受給者数	計	蕨 市	戸 田 市
	1, 398	507	891

イ 先天性血液凝固因子欠乏症等医療給付受給者数

令和5年3月31日現在 単位：人

先天性血液凝固因子 欠乏症等医療給付受給者数	計	蕨 市	戸 田 市
	9	2	7

(2) 相談等

令和4年度（延数）単位：人

来 所 ・ 電 話	訪 問
655	44

### (3) 難病訪問相談員育成研修

難病患者等の相談・支援に携わっている相談支援者が基礎的な知識を習得し支援者の相談スキルを高めることで、難病患者のQOLの維持・向上につなげることを目的に実施しています。

日 時	令和4年8月30日(火)
場 所	南部保健所
参 加 者	16名 障害、介護、訪問看護、行政機関等の職員
内 容	①講義：災害時個別支援計画・避難行動要支援者名簿登録制度について 講師：戸田市危機管理防災課・蕨市安全安心推進課 ②講義：医療機器利用者への訪問時にできる災害対策について 人工呼吸療法 ～人工呼吸器業者の立場から～ 講師：株式会社フリップス・ジャパン S&RC 事業部 支店担当者 ③グループワーク：マイタイムライン作成 人工呼吸器を装着したALS患者の事例

日 時	令和5年2月～3月
方 法	YouTube オンデマンド配信
対 象 者	訪問相談員(ケアマネジャー、訪問看護師、訪問介護ヘルパー、在宅難病患者を支援している専門職)、難病相談支援員、ピアサポーター
内 容	訪問相談員育成研修及び難病相談支援員・ピアサポーター研修会 講義：難病コミュニケーション支援 ～様々な活動につながるスイッチについて～ 講師：国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部 第2福祉機器試験評価室 伊藤 和幸 氏

### (4) 医療講演会

在宅療養されている難病患者とその家族、支援者等を対象として、包括的在宅療養講演会を開催しています。

日 時	令和4年9月
方 法	YouTube オンデマンド配信
対 象 者	患者及びその家族、及び支援者等
内 容	講演：後縦靭帯骨化症/黄色靭帯骨化症の病態と治療 講師：埼玉医科大学総合医療センター整形外科教授税田和夫氏 主催：埼玉県難病相談支援センター・共催：保健所



#### (5) ひまわりの会（筋萎縮性側索硬化症 患者家族のつどい）

平成24年度から奇数月第2水曜日に開催しています。川口市と共催で、病気や医療、支援サービス、介護についての話題を中心に、患者・家族の情報交換の場となっています。

新型コロナウイルス感染拡大のため中止していましたが、令和4年度は3月に再開しました。

日 時	令和5年3月8日（火）
場 所	南部保健所
参 加 者	8名 代表者2名、家族2名、保健所職員2名
内 容	療養状況・日頃の介護・患者の意思決定について 情報交換と共有

#### (6) 難病患者等地域支援連絡会

南部保健医療圏の難病患者への支援、対応の一助とするために、障害福祉サービス等の情報交換を実施しました。

日 時	令和4年11月30日（水）
場 所	南部保健所 大会議室
参 加 者	20名 管内市障害介護保健部門職員、川口市保健所・南部保健所職員
内 容	(1) 難病対策の経緯と難病対策地域協議会 (2) 指定難病医療給付状況について (3) 難病患者の災害対策の実際 パーキンソン病患者の事例紹介・各市検討

#### (7) 南部保健医療圏難病対策地域協議会

南部保健医療圏の難病患者・家族への支援の体制整備を図るとともに、難病患者・家族への支援に必要な事項の検討及び協議のため、川口市保健所と共に平成30年度に設置しました。

委員は、医療、歯科、薬剤師、看護、在宅療養支援、福祉、介護、保健等各分野の団体から推薦を受けた27名に委嘱しています。

日 時	令5年1月26日（木）
場 所	南部保健所 大会議室
参 加 者	委員 24名
内 容	(1) 難病対策の経緯と難病対策地域協議会について (2) 南部保健医療圏難病対策地域協議会設置要綱の改定について (3) 南部保健医療圏指定難病等医療給付状況難病対策事業について (4) 埼玉県における難病患者への災害対策について (5) 南部保健医療圏における難病患者等への災害対策について (避難行動要支援者名簿登録制度についての意見交換)

## 4 肝炎治療医療費助成

国内最大級の感染症である、B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス治療（インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び拡散アナログ製剤治療で保険適用となっているもの）の医療費を助成し、早期治療につなげることにより、将来的な肝硬変、肝がんの予防や肝炎ウイルスの感染防止を目的としています。

肝炎治療受給者証申請交付件数

令和4年度 単位：件

項 目	件 数
インターフェロン治療新規申請（3剤以外）	1
インターフェロン治療2回目申請	0
インターフェロン治療3剤併用申請	0
インターフェロンフリー申請	13
核酸アナログ製剤治療新規申請	11
核酸アナログ製剤治療更新申請	115
インターフェロン延長申請	0
記載事項変更	2
その他申請（療養費申請含む）	9
計	151

## 5 原爆被爆者援護

県は原爆被爆者の方への援護対策として、被爆者健康手帳や各種手当の申請・届出を各保健所で受け付けています。

(1) 被爆者健康手帳所持者数 令和5年3月31日現在 単位：人

計	蕨市	戸田市
27	14	13

(2) 各種手当の申請及び届出数 令和4年度 単位：件

各種手当の項目	件数
介護保険利用被爆者助成金支給申請	0
健康管理手当申請	0
一般疾病医療費支給申請	2
記載事項変更	1
二世手帳交付申請等	0
その他の申請	2
計	5

## 6 石綿（アスベスト）健康被害救済給付制度

県は独立行政法人環境再生保全機構から委託を受け、各保健所で申請を受け付けています。  
令和3年中に当所で受付けた申請は0件でした。

申請受付件数 令和4年度 単位：件

本人申請分	認定申請、療養手当請求	0
遺族申請分	特別遺族弔慰金、特別葬祭料請求	0
計		0

## 7 健康づくり・栄養

### (1) 栄養指導状況

栄養改善は健康保持の基本です。現在の日本の栄養水準は、国民健康・栄養調査からみても全体的には向上しているとされている一方で、健康面からの栄養バランスの崩れや食習慣の乱れなど諸問題が提起されており、指導を行っています。

単位：人

	個別指導				集団指導		
	栄養指導	病態別 (再掲)	訪問指導 (再掲)	運動指導	栄養指導	病態別 (再掲)	運動指導
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—
20歳以上	8	6	0	0	12	0	0

### (2) 埼玉県民栄養調査

健康増進法第16条に基づき、無作為抽出で指定された地区内の世帯及び世帯員を調査対象として調査を行いました。

調査日	調査地区所在市	調査内容	世帯数及び世帯員数
令和4年11月16日 及び11月17日	戸田市 笹目5丁目	栄養摂取状況調査 身体状況調査(尿検査含) 生活習慣調査 県民の健康に関する アンケート	15世帯 32名

### (3) 栄養関係団体育成事業

#### 給食研究会

日時	研修内容及び講師	参加人数
令和5年3月6日(月) 14:00~16:00	講義「災害時の食について」 講師 ミドリ安全株式会社  実践報告 戸田中央総合病院、グリーンビレッジ安行、蕨市立病院	15人

### (4) 食育推進事業・健康長寿事業

#### ア 保健所管内栄養士連絡調整会議

管内市の保健センターの栄養士と連絡会議を実施しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、実施を見合わせました。

#### イ 保健所管内栄養関係者研修会

日時	研修内容及び講師	参加人数
令和4年10月26日(水) 14:00~16:00	講義「日本食品標準成分表2020年版(八訂)の活用について」 講師 女子栄養大学 本田佳子 教授	32人

#### ウ 健康長寿サポーター養成講習

日時	研修会等名称	参加人数
令和4年4月28日(木)	看護系・栄養系保健所臨地実習	51名

### (5) 埼玉県健康づくり協力店

食生活の改善を図るため、栄養情報等の提供、野菜たっぷりメニューの提供を行う飲食店等を埼玉県健康づくり協力店として指定し、健康情報を発信する拠点として県民の健康づくりをサポートしていただいています。

単位：施設

	和 食	洋 食	中 華	そ の 他
指定施設数	5	1	0	1

### (6) 埼玉県給食施設栄養管理指導実施要綱に基づく指導・助言

健康増進法に基づき、特定かつ多数の者に対して継続的に食事を供給する施設における栄養管理等の実施について必要な指導・助言等を行うとともに、年に1回栄養管理状況報告書の提出を求めています。

令和3年度

実 地 指 導	指 導・助 言	報 告 書 提 出
12施設	46件	124施設

### (7) 埼玉県受動喫煙防止対策実施施設等認証制度

受動喫煙防止対策に積極的に取り組み、令和元年6月から法律上の義務を上回る対策を実施する施設を認証しています。（保健所受理分のみ）

単位：施設

	敷地内禁煙	屋内禁煙（単独施設）	屋内禁煙（テナント等）
令和3年度の認証施設数	32	19	32

## 8 歯科保健

歯科口腔保健を推進するため、保健所、関係機関職員、地域の歯科医師、歯科衛生士との連携を図ることを目的に地域における歯科保健医療サービスについて、研修会を実施しました。

日 時	内 容	人数
令和5年2月9日(木) 9:30~12:00	保健所歯科口腔保健連携会議 1 講話 (1)「埼玉県における高齢者歯科保健について」 講師 埼玉県保健医療部健康長寿課 主査 小泉伸秀 氏 (2)「地域在宅医療推進体制整備事業 蕨戸田地区拠点における現状」 講師 蕨戸田歯科医師会 在宅歯科診療部長 柳下 崇 氏 (3)「病院における歯科診療 アセスメントの実際」 ～多職種連携の視点から～ 講師 戸田中央リハビリテーション病院 言語聴覚士 赤沼賢吾 氏	19人

## 9 精神保健福祉

### (1) 申請・通報対応（根拠法令：精神保健福祉法第22条～26条）

ア 申請・通報による精神保健診察及び措置件数 令和4年度 単位：件

区 分	計	一 般 (22条)	警察官 通 報 (23条)	検察官 通 報 (24条)	保 護 観 察 所 (25条)	矯 正 施 設 (26条)	精神病院 の管理者 (26条2)
申請通報件数	201	—	146	27	—	28	—
精神保健診察件数	77	—	61	16	—	—	—
措置入院件数	56	—	47	9	—	—	—

※ 措置入院件数のうち緊急措置入院は3件でした。

イ 警察署別23条通報件数 令和4年度 単位：件

警 察 署 名	計	川 口	武 南	蕨	管 外
通報件数	146	74	34	35	3

### (2) 精神保健福祉相談（根拠法令：精神保健福祉法第47条）

ア 相談件数 令和4年度 単位：件

	訪 問	面 接	電話・メール
実 件 数	145	201	—
延 べ 件 数	329	550	3,874

※ 電話及びメールによる相談は延べ件数のみ把握している。

イ 専門相談 令和4年度

	被相談者	実施回数	相談延べ件数
精神保健福祉相談	精神科医師	0回	0件
ひきこもり相談	臨床心理士	3回	3件

(3) 地域精神保健推進事業（根拠法令：精神保健福祉法第2条、46条）

ア 南部保健所管内精神保健福祉連絡会

管内の精神保健福祉等関係機関の連携強化と課題への対応能力の強化のため実施しています。

名 称	精神保健福祉連絡会（管内市担当者会議）
実 施 日	令和4年6月10日（金） 14：00～16：00
参 加 者	12名
内 容	情報交換及び意見交換 （1）今年度の体制・事業計画について （2）ひきこもり支援の推進について （3）高次脳機能障害について

イ 精神保健メンタルヘルス研修会

管内の精神保健福祉関係機関職員のメンタルヘルスに関する知識の向上を図るために研修会を実施しています。

名 称	南部保健所メンタルヘルス研修会
実 施 日	令和5年3月3日（金） 14：00～16：00
参 加 者	28名
内 容	「相談支援の基本」～こんな時どのように対応するか～ ビヨンドザボーダー株式会社 代表取締役 安藤 亘 氏

#### (4) 自殺対策関連事業（根拠法令：自殺対策基本法第4条）

##### ア 薬物依存症対策事業

薬物依存体験の分かち合いと対処能力の向上を目的として、薬物依存症患者を持つ家族を対象に、薬物依存症家族の集いを実施しています。

実施回数	隔月1回（年5回）
参加延べ人数	11名

##### イ 自殺対策推進事業

自殺対策を推進するために、管内市職員等の精神保健スキルアップの向上を目指し、研修会を実施しています。

名称	精神保健スキルアップ研修会「アルコール問題を考える」
実施日	①令和4年12月9日（金）14:00～16:00 ②令和4年12月12日（月）14:00～16:00
参加者	①17名 ②18名
内容	①「～アルコール依存症とはどのような病気なのか～」 埼玉県立精神医療センター第2精神科医長 合川 勇三 氏 ②「～アルコール問題への相談対応について～」 白峰心療相談室室長 市川 烈 氏 ③「～アルコール依存、回復者の声を聴く～」 埼玉南部断酒新生会会長 高橋 一光 氏

#### (5) ひきこもり対策事業（根拠法令：精神保健福祉法第2条）

##### ひきこもり講演会

ひきこもる本人の気持ちの理解や、周囲の対応を学ぶ場として講演会を開催しています。

名称	ひきこもり公開講座
実施日	令和4年9月17日（土）14:00～16:00
参加者	39名
内容	「ひきこもりの理解と対応を考える」 ～コロナ禍の孤立とひきこもり問題～ 公立大学法人 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 共通教育科 大学院研究科 教授 東 宏行 氏



(6) 精神障害者を地域で支えるシステム構築事業（根拠法令：精神保健福祉法第2条）

ア 精神障害者地域支援体制構築事業実務担当者会議

管内関係機関の精神障害者への支援状況を共有・整理を行うとともに、連携促進をはかるため、実務担当者の会議を実施しました。

実施日	令和4年12月2日（金）14：00～16：00
参加者	25名
内容	(1) 事例報告 障害者支援センター ひかり所長 高野 永 氏 (2) グループワーク (3) 意見交換

イ 精神障害者地域支援体制構築会議

管内関係機関の精神障害者の地域生活支援・地域移行に関する取組み状況や課題等の共有と意見交換を行い、管内の精神保健福祉及び医療の連携促進をはかるための会議を実施しています。

実施日	令和5年2月6日（月）13：30～14：30
参加者	24名
内容	(1) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業の報告 (2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業の今後の方向性について (3) 質疑応答・意見交換

(7) 埼玉県措置入院者退院後支援事業（根拠法令：精神保健福祉法第47条）

精神障害者支援地域協議会代表者会議

措置入院制度の運用、措置入院者の退院後の支援体制、医療機関及び関係機関の役割分担並びに地域における課題等について検討することを目的に会議を実施しました。

実施日	令和5年2月6日（木）15：00～16：30
参加者	26名
内容	(1) 埼玉県における措置入院の現状と措置入院者退院後支援事業について (2) 埼玉県及び南部保健所における休日・夜間の精神科救急の現状と課題 (3) 南部保健所の措置入院関係の対応状況について (4) 措置入院に関する課題の共有や意見交換

## 10 現任教育

### (1) 県・市町村保健師連絡調整会議地域別会議

県・市町村の管理的立場にある保健師を対象に、組織的・計画的・継続的に保健師の人材育成に取り組み、現任教育体制の整備・充実を図ることを目的として会議を開催した。

日 時	内 容	人数
【第1回】 令和4年6月21日(木) 15:00~16:15	(1) 保健師人材育成プログラムと保健師活動指針について (2) 保健師現任教育についての情報交換及び実施計画の検討	6名
【第2回】 令和5年2月14日(火) 13:30~15:30	(1) 保健師現任教育実施状況についての実績評価と次年度計画 (2) 保健師現任教育についての情報交換	4名

### (2) 新任期保健師研修

南部・朝霞保健所管内の採用3年目までの保健師を対象にPDCA理論が日頃の活動と連動し、実践に活かすことを目的として開催した。

日 時	内 容	人数
令和4年10月12日(木) 13:30~16:00	事業評価(相談対応研修) (1) 講義 「相談の受け方の基本」 講師 菊池臨床心理オフィス 菊池礼子氏 (2) グループワーク	21名

### (3) 中堅期保健師研修

南部・朝霞保健所管内及び川口市の中堅期の保健師(概ね採用10年目)を対象に更なる専門性の獲得と近隣保健師間の交流を目的として開催した。

日 時	内 容	人数
令和5年1月10日(火) 13:30~15:30	保健師活動の基本 (1) 講義 「相談記録について」 講師 南部保健所 主任 渡部京子 (2) 事例紹介 「PDCAサイクルに基づく保健事業」 報告者 戸田市福祉保健センター 親子支援担当職員 (3) グループワーク	17名

## IV 生活衛生・薬事担当

### 1 食品衛生

食品の安全の確保を図るため、営業者に対して施設の衛生管理、食品の適正な取扱い及び自主検査の励行などの指導を実施しました。また、県民に対して食中毒予防の啓発に努めました。なお、令和3年6月1日付けで食品衛生法が改正され、業種の再編が行われています。

#### (1) 業種別施設数

令和5年3月31日現在

単位：施設

区 分		施 設 数		
		計	蕨 市	戸 田 市
総 計		3 0 0 8	1 0 4 2	1 9 6 6
合 計		7 0 3	2 6 5	4 3 8
法 (改正後) に 関 する もの	飲食店営業	5 7 8	2 3 1	3 4 7
	調理の機能を有する自動販売機営業	1 0	7	3
	食肉販売業	1 3	4	9
	魚介類販売業	1 5	6	9
	魚介類競り売り営業	0	0	0
	集乳業	0	0	0
	乳処理業	0	0	0
	特別牛乳搾取処理業	0	0	0
	食肉処理業	4	1	3
	食品の放射線照射業	0	0	0
	菓子製造業	4 5	1 1	3 4
	アイスクリーム類製造業	1	0	1
	乳製品製造業	0	0	0
	清涼飲料水製造業	0	0	0
	食肉製品製造業	4	0	4
	水産製品製造業	0	0	0
	氷雪製造業	1	1	0
	液卵製造業	0	0	0
	食用油脂製造業	0	0	0
	みそ又はしょうゆ製造業	2	0	2
	酒類製造業	0	0	0
	豆腐製造業	0	0	0
	納豆製造業	0	0	0
	麺類製造業	3	2	1
	そうざい製造業	1 6	2	1 4
	複合型そうざい製造業	2	0	2
	冷凍食品製造業	3	0	3
複合型冷凍食品製造業	1	0	1	
漬物製造業	1	0	1	
密封包装食品製造業	0	0	0	
食品の小分け業	4	0	4	
添加物製造業	0	0	0	
合 計		1 5 0 5	5 5 7	9 4 8
法 (改正前) に 関 する もの	飲食店営業	1 0 8 7	4 2 1	6 6 6
	喫茶店営業	1 0 3	3 3	7 0
	菓子製造業	1 0 3	4 2	6 1
	あん類製造業	1	0	1
	アイスクリーム類製造業	1	0	1

乳処理業	1	0	1
乳製品製造業	2	0	2
食肉処理業	17	0	17
食肉販売業	76	29	47
食肉製品製造業	1	0	1
乳酸菌飲料製造業	1	0	1
魚介類販売業	55	24	31
魚肉ねり製品製造業	0	0	0
食品の冷凍又は冷蔵業	22	0	22
清涼飲料水製造業	1	0	1
氷雪製造業	1	1	0
氷雪販売業	0	0	0
食用油脂製造業	2	0	2
みそ製造業	1	0	1
醤油製造業	1	0	1
ソース類製造業	2	0	2
酒類製造業	0	0	0
豆腐製造業	2	1	1
納豆製造業	0	0	0
めん類製造業	10	3	7
そうざい製造業	13	3	10
かん詰又はびん詰食品製造業	0	0	0
添加物製造業	2	0	2
合 計	800	220	580
魚介類販売業（包装魚介類のみ）	10	3	7
食肉販売業（包装食肉のみ）	11	5	6
乳類販売業	29	8	21
氷雪販売業	1	0	1
コップ式自動販売機（自動洗浄・屋内設置）	68	17	51
弁当販売業	2	1	1
野菜果物販売業	25	10	15
米穀類販売業	10	4	6
通信販売・訪問販売による販売業	1	0	1
コンビニエンスストア	97	30	67
百貨店、総合スーパー	46	21	25
自動販売機による販売業 （コップ式自動販売機（自動洗浄・屋内設置）を除く）	89	20	69
その他の食料・飲料販売業	303	77	226
添加物製造・加工業（法第13条第1項の規定により規格が定められた添加物の製造を除く。）	0	0	0
いわゆる健康食品の製造・加工業	0	0	0
コーヒー製造・加工業（飲料の製造を除く。）	5	1	4
農産保存食料品製造・加工業	0	0	0
調味料製造・加工業	6	2	4
糖類製造・加工業	0	0	0
精穀・製粉業	0	0	0
製茶業	2	1	1
海藻製造・加工業	1	0	1
卵選別包装業	0	0	0
その他の食料品製造・加工業	18	6	12

届出（改正後）

行商	5	0	5
集団給食施設	55	13	42
器具、容器包装の製造・加工業（合成樹脂が使用された器具又は容器包装の製造、加工に限る。）	12	0	12
露店、仮設店舗等における飲食の提供のうち、営業とみなされないもの	1	1	0
その他	3	0	3

(2) 業種別許可件数等

令和4年度 単位：件

		新規許可・届出件数	更新許可件数	廃業届出件数
総計		349	199	516
合計		180	199	16
法（改正後）に関するもの	飲食店営業	145	166	13
	調理の機能を有する自動販売機営業	3	3	0
	食肉販売業	2	6	0
	魚介類販売業	1	7	0
	魚介類競り売り営業	0	0	0
	集乳業	0	0	0
	乳処理業	0	0	0
	特別牛乳搾取処理業	0	0	0
	食肉処理業	0	3	0
	食品の放射線照射業	0	0	0
	菓子製造業	12	9	2
	アイスクリーム類製造業	1	0	0
	乳製品製造業	0	0	0
	清涼飲料水製造業	0	0	0
	食肉製品製造業	0	2	0
	水産製品製造業	0	0	0
	氷雪製造業	0	0	0
	液卵製造業	0	0	0
	食用油脂製造業	0	0	0
	みそ又はしょうゆ製造業	0	0	0
	酒類製造業	0	0	0
	豆腐製造業	0	0	0
	納豆製造業	0	0	0
	麺類製造業	2	0	0
	そうざい製造業	8	1	1
	複合型そうざい製造業	1	1	0
	冷凍食品製造業	1	1	0
	複合型冷凍食品製造業	0	0	0
	漬物製造業	1	0	0
	密封包装食品製造業	0	0	0
	食品の小分け業	3	0	0
	添加物製造業	0	0	0
合計		—	—	491
法（改正前）に関するもの	飲食店営業	—	—	328
	喫茶店営業	—	—	27
	菓子製造業	—	—	34
	あん類製造業	—	—	0
	アイスクリーム類製造業	—	—	0

	乳処理業	—	—	0
	乳製品製造業	—	—	0
	乳類販売業	—	—	39
	食肉処理業	—	—	5
	食肉販売業	—	—	22
	食肉製品製造業	—	—	2
	乳酸菌飲料製造業	—	—	0
	魚介類販売業	—	—	20
	魚肉ねり製品製造業	—	—	0
	食品の冷凍又は冷蔵業	—	—	5
	清涼飲料水製造業	—	—	0
	氷雪製造業	—	—	0
	氷雪販売業	—	—	0
	食用油脂製造業	—	—	0
	みそ製造業	—	—	0
	醤油製造業	—	—	0
	ソース類製造業	—	—	0
	酒類製造業	—	—	0
	豆腐製造業	—	—	0
	納豆製造業	—	—	0
	めん類製造業	—	—	3
	そうざい製造業	—	—	6
	かん詰又はびん詰食品製造業	—	—	0
	添加物製造業	—	—	0
	合 計	169	—	9
届出 (改正後)	魚介類販売業（包装魚介類のみ）	4	—	0
	食肉販売業（包装食肉のみ）	3	—	0
	乳類販売業	15	—	0
	氷雪販売業	0	—	0
	コップ式自動販売機（自動洗浄・屋内設置）	24	—	0
	弁当販売業	4	—	3
	野菜果物販売業	9	—	1
	米穀類販売業	0	—	0
	通信販売・訪問販売による販売業	0	—	0
	コンビニエンスストア	5	—	1
	百貨店、総合スーパー	4	—	0
	自動販売機による販売業 （コップ式自動販売機（自動洗浄・屋内設置）を除く）	21	—	1
	その他の食料・飲料販売業	59	—	2
	添加物製造・加工業（法第13条第1項の規定により規格が定められた添加物の製造を除く。）	0	—	0
	いわゆる健康食品の製造・加工業	0	—	0
	コーヒー製造・加工業（飲料の製造を除く。）	3	—	0
	農産保存食料品製造・加工業	0	—	0
	調味料製造・加工業	3	—	0
	糖類製造・加工業	0	—	0
	精穀・製粉業	0	—	0
	製茶業	0	—	0
海藻製造・加工業	1	—	0	
卵選別包装業	0	—	0	

その他の食料品製造・加工業	3	—	0
行商	5	—	1
集団給食施設	4	—	0
器具、容器包装の製造・加工業（合成樹脂が使用された器具又は容器包装の製造、加工に限る。）	0	—	0
露店、仮設店舗等における飲食の提供のうち、営業とみなされないもの	0	—	0
その他	2	—	0

### (3) 講習会等実施状況

令和4年度は、合計17回、323人に食品衛生講習を実施しました。

令和3年度

名 称	開 催 回 数	参 加 人 数
食品従事者研修	17回	323人
食品衛生実務講習会	0回	0人
一般県民向け講習会	0回	0人

### (4) 食中毒等発生状況

令和4年度に、南部保健所管内で発生した食中毒事故は0件、患者数0人でした。

また、県内・外において発生した食中毒等に関連して行った調査は12件で、調査対象数は患者等8人、施設4件でした。

### (5) 食品関連苦情受付状況

令和4年度は、59件の苦情・相談を受付けました。

令和4年度 単位：件

内 容	有 症	衛 生 管 理	異 物	虫	腐敗・ 変敗	表 示	異 味 異 臭	その他	合 計
件 数	21	13	7	7	0	2	0	9	59

### (6) 食中毒予防啓発事業（広報等への記事掲載を依頼）

食中毒シーズンを前に管内市広報や管内興行場の広告媒体へ食中毒予防に関する啓発記事の掲載を依頼しました。

掲 載 市 戸田市

掲 載 広 報 広報 戸田市（令和4年8月号、令和4年12月号）

掲載興行場 戸田競艇企業団

掲 載 媒 体 大型映像装置



## 2 動物指導

飼い犬の登録及び狂犬病予防注射の実施徹底を図るとともに、犬の正しい飼い方や動物愛護などの普及啓発を行いました。

また、動物取扱業等の施設に対し、立ち入り指導を実施しました。

### (1) 登録・狂犬病予防注射頭数・狂犬病予防注射接種率

令和4年度 単位：頭

区 分	登 録 頭 数	注射済票交付数	接種率
計	8, 232	5, 278	64.1%
蕨 市	2, 718	1, 716	63.1%
戸 田 市	5, 514	3, 562	64.6%

※ 犬の登録及び注射済票交付については、各市において実施している。

### (2) 犬の苦情・相談件数

令和4年度 単位：件

区 分	計	苦 情 ・ 相 談 内 訳						
		捕 獲	引取り	放し飼い	咬傷事故	糞 尿	鳴き声	その他
計	96	4	13	3	7	4	11	54
蕨 市	39	3	3	3	1	2	4	23
戸田市	57	1	10	0	6	2	7	31

### (3) 犬の収容業務状況

令和4年度 単位：頭

区 分	抑留犬・収容犬の頭数			処 分 頭 数			
	計	内 訳		計	内 訳		
		捕 獲 収 容	飼い主から 引取り		飼い主 へ返還	引取り 申請取下	動物指導 センター送致
計	4	3	1	4	1	0	3
蕨 市	2	2	0	2	1	0	1
戸田市	2	1	1	2	0	0	2
管轄外	0	0	0	0	0	0	0

### (4) 犬の咬傷事故件数

令和4年度

区 分	咬傷事故件数	咬傷犬頭数	被咬傷者数（死者数）
計	4件	4頭	4人（0人）
蕨 市	0件	0頭	0人（0人）
戸 田 市	4件	4頭	4人（0人）

(5) 第一種動物取扱業の登録件数

令和5年3月31日現在 単位：件

区分	施設数	登録業種計	登録業種内訳						
			販売	保管	貸出し	訓練	展示	競りあっせん	譲受飼養
計	67	98	30	49	5	11	3	0	0
蕨市	20	26	5	16	1	3	1	0	0
戸田市	47	72	25	33	4	8	2	0	0

(6) 第二種動物取扱業の届出件数

令和5年3月31日現在 単位：件

区分	施設数	届出業種計	届出業種内訳				
			譲渡し	保管	貸出し	訓練	展示
計	3	5	2	2	0	0	1
蕨市	2	3	1	1	0	0	1
戸田市	1	2	1	1	0	0	0

(7) 特定動物の飼養許可件数

令和5年3月31日現在 単位：件

区分	施設数	飼養許可件数	飼養目的	動物の種類
計	1	1		
蕨市	0	0	—	—
戸田市	1	1	特定目的以外の目的(愛玩)	ワニガメ

(8) 動物の多頭飼育の届出件数

令和5年3月31日現在 単位：件

区分	施設数	犬のみを飼育	猫のみを飼育	犬と猫を飼育
計	3	1	1	1
蕨市	0	0	0	0
戸田市	3	1	1	1

### 3 環境衛生

#### (1) 環境衛生関係施設数及び監視指導件数

環境衛生関係の営業施設の多くは、住民の日常生活に密着したサービスを提供するものであり、その衛生的な環境の確保は特に重要です。そこで、法令等に定められた衛生基準の適合状況について審査して施設の確認及び許可を行い、その後も継続した監視指導を実施しました。

令和4年度 単位：件

		令和5年3月31日現在施設数			許可 又は 届出数	廃止数	監視 指導数
		計	蕨市	戸田市			
計		609	237	372	25	24	106
営業 関係 施設	計	541	217	324	21	24	98
	理容所	134	55	79	4	9	29
	美容所	275	118	157	14	10	24
	クリーニング所	87	29	58	2	5	16
	旅館	21	5	16	1	0	7
	公衆浴場(一般)	5	2	3	0	0	6
	(その他)	13	5	8	0	0	14
	興行場	6	3	3	0	0	2
建特 築物 定	計	58	15	43	4	0	2
	特定建築物	35	13	22	2	0	—
	登録営業所	23	2	21	2	0	2
プ ール	計	10	5	5	0	0	6
	公営	4	2	2	0	0	5
	民営	6	3	3	0	0	1

※ 公衆浴場のその他には、サウナ、保養休養等の施設を含む。

#### (2) 水質検査実施状況

住民から依頼を受けて、埼玉県衛生研究所で検査を実施しました。

令和4年度 単位：件

		検査件数	適合	不適合
計		8	5	3
飲 料 水	上水道	3	3	0
	専用水道	0	0	0
	簡易専用水道	0	0	0
	その他の水道	1	0	1
	井水	4	2	2

#### (3) 衛生害虫等による住居衛生苦情・相談件数

住居にいる害虫等生活環境に係る苦情や相談に対応しました。

令和4年度 単位：件

	シクハウス	ネズミ	ハチ	ダニ	チャタテムシ	ユスリカ	アリ	蚊	シバンムシ	その他	合計
件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3

## 4 薬事衛生

医薬品の品質、有効性及び安全性を確保するため、医薬品医療機器等法に基づき薬局等の監視指導を行いました。また、毒物・劇物及び麻薬などの取扱いについても、保健衛生上の危害を防止するため、指導取締りを行いました。

### (1) 薬事関係施設数及び監視件数

令和4年度 単位：件

業 種	令和5年3月31日現在施設数			新規申請	更新申請	廃止届	監視件数
	管内計	蕨市	戸田市				
計	573	219	354	44	60	19	165
薬 局	88	37	51	4	18	4	52
薬局製造業	5	5	0	0	1	0	2
薬局製造販売業	5	5	0	0	1	0	2
店舗販売業	43	19	24	2	7	0	12
卸売販売業	18	6	12	4	5	1	9
再生医療等製品販売業	1	0	1	0	1	0	0
高度管理医療機器販売業・貸与業	117	45	72	11	27	11	59
管理医療機器販売業・貸与業	296	102	194	23	—	3	29

### (3) 麻薬等取扱者数

		令和5年3月31日現在施設数				新規申請	更新申請	廃止届	監視件数
		管内計	蕨市	戸田市	川口市				
計		115	24	63	28	2	16	6	25
製造業	大臣登録分	0	0	0	0	0	0	0	0
	知事登録分	24	2	7	15	0	1	1	2
輸入業	大臣登録分	0	0	0	0	0	0	0	0
	知事登録分	6	0	3	3	0	0	0	0
一般販売業		59	17	42	—	2	15	5	23
農業用品目販売業		4	2	2	—	0	0	0	0
特定品目販売業		1	0	1	—	0	0	0	0
電気めっき事業		5	2	3	—	0	—	0	0
金属熱処理事業		0	0	0	—	0	—	0	0
毒物劇物運送業		0	0	0	—	0	—	0	0
特定毒物研究者		16	1	5	10	0	—	0	0

### (3) 麻薬等取扱者数

		令和5年3月31日現在 取扱者数(人)	令和4年度 申請件数(件)
計		1,429	689
麻薬	施用者	1,082	521
	管理者	87	41
	小売業者	260	127
	研究者	0	0

### (4) 献血状況

令和4年度

		目標人数(人)	献血者数(人)	達成率(%)
計		2,703	1,422	52.6
蕨市		1,095	565	51.6
戸田市		1,608	857	53.3

※ 移動採血車分

### (5) 薬物乱用防止対策

南部保健所と南部保健所管内薬物乱用防止指導員協議会は、協働して薬物乱用防止対策事業を実施しました。

#### ◎啓発活動

- ・不正大麻・けし撲滅運動 : 令和4年5月1日～6月30日
- ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 : 令和4年6月20日～7月19日
- ・麻薬・覚醒剤乱用防止運動 : 令和4年10月1日～11月30日
- ・学校等における講習会等の実施 : 3校 受講者 1,730名

## V 食品監視担当

埼玉県では、南部保健所（平成29年度まで川口保健所）、春日部保健所、狭山保健所及び熊谷保健所の4か所に食品監視担当を設置し、食中毒事故の発生と違反食品の製造・流通を未然に防止するため、監視指導や収去検査を行っています。

当所は、当所及び朝霞保健所の2保健所管内の8市1町（平成29年度までは9市1町）を所管し、令和4年度において延べ573件の監視指導及び8回の衛生講習会（受講者320人）を実施し、食品に起因する事故防止に努めました。

埼玉県食品衛生監視指導計画に基づき、HACCPに沿った衛生管理の運用状況の確認及び支援を行いました。また、HACCPの概念に基づく自主衛生管理の普及に努めるとともに、広域に流通する食品を製造する大規模施設や大量調理施設の監視指導並びにノロウイルス及びカンピロバクターによる食中毒の防止を目的とした小規模保育施設や生食用食肉等を提供する施設等の監視指導を重点的に実施しました。

### 1 食品監視担当業務概況

令和4年度

		計	南部保健所 管内	朝霞保健所 管内
監視対象施設数		12,139	3,076	9,063
監視等	監視業種数	573	285	288
	違反食品発見数	—	—	—
収去等	収去等検査検体数(延べ数)	86	44	42
	不適件数	2	1	1
通報・届出等による違反等の処理数		52	16	36
行政処分等	行政処分	—	—	—
	報告書等	17	3	14
	その他の措置 (報告書等を再掲)	22	4	18
食中毒 調査協力	出動日数	—	—	—
	出動人員	—	—	—

## 2 収去検査の概要

管内で製造、生産及び流通する食品について、収去検査及び買上げ検査（スクリーニング）を行った。  
 なお、違反は微生物の検査項目で2検体（冷凍食品1検体、生食用鮮魚介類1検体）であった。  
 （検査機関：埼玉県衛生研究所、埼玉県食肉衛生検査センター）

令和4年度

検査項目	国産品		輸入品		合計	
	検体数	違反数	検体数	違反数	検体数	違反数
微生物	34	2	0	0	34	2
残留農薬	13	0	6	0	19	0
県内産野菜	3	0			3	0
県内産野菜（スクリーニング）	10	0			10	0
輸入野菜			6	0	6	0
食品添加物	6	0	6	0	12	0
動物用医薬品	10	0	6	0	16	0
アレルギー物質	5	0	0	0	5	0
放射性物質	0	0	0	0	0	0
汚染物質（カドミウム）	0	0	0	0	0	0
計	68	2	18	0	86	2

### 3 違反食品等発見処理状況

令和4年度

	発見・通報・届出数	違反理由等										行政処分等																				
		食品衛生法違反						食品表示法違反	その他	合計	行政処分						始末書等			その他		合計										
		第6条	第10条	第13条	第19条第2項	第50条第2項	その他				営業許可の取消	営業の禁停止	食品等の廃棄	食品等の返品	食品等の回収	食品等移動停止	その他	合計	始末書等	口頭説諭	調査指導依頼		現地調査指導等	合計								
		条	条	条	項	項	他																									
合計		54	9	—	34	—	—	4	47	7	—	54	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17	—	17	—	10	10	27	
担当内発見	監視等	管内製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		管外製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		県外製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	収去等	管内製品	2	—	—	2	—	—	—	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	2	2	3
		管外製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		県外製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
通報届出	管内	15	8	—	—	—	—	2	10	5	—	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	—	16	—	4	4	20	
	管外	5	1	—	3	—	—	—	4	1	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2		
	県外	32	—	—	29	—	—	2	31	1	—	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1		
	計	52	9	—	32	—	—	4	45	7	—	52	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	—	16	—	7	7	23	

注：1 違反疑いとして調査した件数を含む。

2 「違反理由等」又は「行政処分」において、同一施設で、違反理由又は行政処分が重複した場合は、すべて計上した。

3 「行政処分等」において、同一施設で、「行政処分」と「行政処分」以外が重複した場合は、行政処分だけを計上した。

4 「行政処分等」において、同一施設で、「行政処分」以外の処理項目が重複した場合は、上位一つを計上した。



## 第3部 南部保健所管内の人口動態統計

当所管内の人口動態について、次頁以降に各統計表を記載しました。統計表についての用語等は下記のとおりです。

〈第3部の統計表の比率について〉

$$\textcircled{1} \text{出生率・死亡率・自然増加率・婚姻率・離婚率} = \frac{\text{年間の件数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

※ ①に使用したデータは次のとおりです。

全国及び県 … 「令和2年人口動態統計（確定数）の概況」（厚生労働省）

管内及び市 … 「令和2年埼玉県の人口動態概況」（県保健医療部保健医療政策課）

$$\textcircled{2} \text{乳児死亡率・新生児死亡率} = \frac{\text{乳児・新生児死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

※ 乳児死亡：生後1年未満の死亡 / 新生児死亡：生後4週（28日）未満の死亡

$$\textcircled{3} \text{周産期死亡率} = \frac{\text{妊娠満22週以後の死産数} + \text{早期新生児（生後1週未満）死亡数}}{\text{出産（出生 + 妊娠満22週以後の死産）数}} \times 1,000$$

$$\textcircled{4} \text{死産率（自然死産率・人工死産率）} = \frac{\text{死産（自然・人工）数}}{\text{出産（出生 + 死産）数}} \times 1,000$$

※ 死産：妊娠12週（第4月）以後の死産の出産

〈第3部の統計表の表章記号〉

— 計数のない場合

… 計数が不明または計数を表章することが不適切な場合。統計項目のあり得ない場合。

0.0 計数が微少（0.05未満）の場合

△ 減

〈第3部の資料出典〉

第1～8表：「令和2年埼玉県保健統計年報・統計資料」（県保健医療部保健医療政策課）

第9表：「埼玉県の合計特殊出生率」（同上）

第10表：国勢調査年（平成27年及び令和2年）は「国勢調査」（総務省統計局）

それ以外の年は「埼玉県の推計人口」（県総務部統計課）

第1表 令和3年人口動態総覧

単位：出生・死亡：人、死産：胎、婚姻・離婚：件、率：%

区 分		全 国	埼 玉 県	管 内	蕨 市	戸 田 市
出 生	実数	811,622	45,424	1,527	392	1,135
	率	6.6	6.4	7.1	5.3	8.0
死 亡	実数	1,439,856	75,164	1,743	720	1,023
	率	11.7	9.0	8.1	9.7	7.2
自然増減	実数	△628,234	△29,740	△216	△328	112
	率	△5.1	△4.2	△1.0	△4.4	0.8
乳児死亡	実数	1,399	62	—	—	—
	率	1.7	1.4	—	—	—
新生児死亡	実数	658	21	—	—	—
	率	0.8	0.5	—	—	—
死 産	実数	16,277	929	21	7	14
	率	19.7	20.0	13.6	17.5	12.2
自然死産	実数	8,082	437	9	3	6
人工死産	実数	8,195	492	12	4	8
周産期死亡	実数	2,741	126	3	1	2
	率	3.4	2.8	2.0	2.5	1.8
妊娠満22週以後の死産	実数	2,235	110	3	1	2
早期新生児死亡	実数	506	16	—	—	—
婚 姻	実数	501,138	28,345	1,137	374	763
	率	4.1	4.0	5.3	5.0	5.4
離 婚	実数	184,384	10,626	335	101	234
	率	1.50	1.49	1.55	1.36	1.66

第2表 出生数及び出生率（人口千対）の年次推移

単位：実数（人）、率（％）

年次	全 国		埼 玉 県		管 内		蕨 市		戸 田 市	
	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率
H27	1,005,677	8.0	56,077	7.8	7,040	8.8	579	8.5	1,512	11.5
28	976,978	7.8	54,447	7.6	6,795	8.6	541	7.4	1,512	10.9
29	946,065	7.6	53,069	7.4	6,350	8.0	512	7.0	1,356	9.7
30	918,400	7.4	51,241	7.1	1,787	8.3	465	6.2	1,322	9.4
R1	865,239	7.0	48,298	6.7	1,714	7.9	470	6.3	1,244	8.8
R2	840,835	6.8	47,328	6.6	1,697	8.5	492	8.5	1,205	9.2
R3	811,622	6.6	45,424	6.4	1,527	7.1	393	5.3	1,135	8.0

第3表 死亡数及び死亡率（人口千対）の年次推移

単位：実数（人）、率（％）

年次	全 国		埼 玉 県		管 内		蕨 市		戸 田 市	
	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率
H27	1,290,444	10.5	62,565	8.7	6,393	8.5	683	10.0	801	6.1
28	1,307,748	10.5	63,466	8.9	6,253	7.9	659	9.0	839	6.4
29	1,340,397	10.8	65,764	9.2	6,570	8.2	706	9.6	837	6.0
30	1,362,470	11.0	67,726	9.4	1,540	7.2	665	8.9	875	6.2
R1	1,381,093	11.2	69,537	9.7	1,594	7.4	686	9.1	908	6.4
R2	1,372,755	11.1	70,758	9.9	1,646	8.3	701	10.4	945	7.2
R3	1,439,856	11.7	75,164	6.4	1,743	8.1	720	9.7	1,023	7.2

第4表 乳児死亡数及び乳児死亡率（出生千対）の年次推移

単位：実数（人）、率（％）

年次	全 国		埼 玉 県		管 内		蕨 市		戸 田 市	
	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率
H27	1,916	1.9	111	2.0	15	2.1	2	3.5	—	—
28	1,928	2.0	118	2.2	19	2.8	2	3.7	2	1.3
29	1,761	1.9	94	1.8	16	2.5	3	5.9	4	2.9
30	1,748	1.9	89	1.7	2	1.1	—	—	2	1.5
R1	1,654	1.9	88	1.8	2	1.2	—	—	2	1.6
R2	1,512	1.8	75	1.6	5	2.9	2	4	3	2.5
R3	1,399	1.7	62	1.4	—	—	—	—	—	—

第5表 死産数及び死産率（出産千対）の年次推移

単位：実数（人）、率（％）

年次	全 国		埼 玉 県		管 内		蕨 市		戸 田 市	
	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率
H27	22,617	22.0	1,350	23.5	162	22.5	23	38.2	32	20.7
28	20,934	21.0	1,181	21.2	138	19.9	15	27.0	28	18.2
29	20,358	21.1	1,213	22.3	152	23.4	13	24.8	37	26.6
30	19,614	20.9	1,130	21.6	41	22.4	17	35.3	24	17.8
R1	19,454	22.0	1,123	22.7	34	19.5	13	26.9	21	16.6
R2	17,278	20.1	1,012	20.9	29	16.8	11	21.9	18	14.7
R3	16,277	19.7	929	20.0	21	13.6	7	17.5	14	12.2

第6表 婚姻数及び婚姻率（人口千対）の年次推移

年次	全 国		埼 玉 県		管 内		蕨 市		戸 田 市	
	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率
27	635,156	5.1	34,757	4.9	4,618	6.0	481	6.7	841	6.4
28	620,531	5.0	34,199	4.8	4,453	5.6	451	6.2	893	6.5
29	606,866	4.9	33,728	4.7	4,439	5.6	447	6.1	936	6.7
30	586,481	4.7	32,745	4.6	1,270	5.9	433	5.8	837	5.9
R1	599,007	4.8	33,671	4.7	1,339	6.2	451	6.0	888	6.3
R2	525,507	4.3	29,260	4.1	1,134	5.7	388	5.7	746	5.7
R3	501,138	4.1	28,345	4.0	1,137	5.3	374	5.0	763	5.4

第7表 離婚数及び離婚率（人口千対）の年次推移

年次	全 国		埼 玉 県		管 内		蕨 市		戸 田 市	
	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率
27	226,215	1.81	12,667	1.77	1,632	2.16	123	1.80	264	2.16
28	216,798	1.73	12,481	1.74	1,626	2.05	156	2.14	246	1.78
29	212,262	1.70	12,161	1.70	1,555	1.95	124	1.68	302	2.16
30	208,333	1.68	11,716	1.63	376	1.75	110	1.48	266	1.89
R1	208,496	1.69	12,067	1.68	381	1.76	112	1.49	269	1.90
R2	193,253	1.57	10,659	1.49	301	1.51	92	1.36	209	1.59
R3	184,384	1.50	10,626	1.49	335	1.55	101	1.36	234	1.66

第8表 令和3年死因別順位別死亡数、死亡率（上位5位 死亡率は人口10万対）

(1) 総数

順位	全 国	埼 玉 県	管 内	蕨 市	戸 田 市
(全死因)	1,439,856	75,164	1,743	720	1,023
1位	悪性新生物 381,505 ( 310.7 )	悪性新生物 20,576 ( 287.7 )	悪性新生物 470 ( 235.9 )	悪性新生物 202 ( 299.1 )	悪性新生物 268 ( 203.5 )
2位	心疾患 (高血圧性を除く) 214,710 ( 174.9 )	心疾患 (高血圧性を除く) 11,510 ( 160.9 )	心疾患 (高血圧性を除く) 220 ( 110.4 )	心疾患 (高血圧性を除く) 87 ( 128.8 )	心疾患 (高血圧性を除く) 133 ( 101.0 )
3位	老 衰 152,027 ( 123.8 )	老 衰 6,896 ( 96.4 )	老 衰 146 ( 73.3 )	老 衰 63 ( 93.3 )	脳血管疾患 86 ( 65.3 )
4位	脳血管疾患 104,595 ( 85.2 )	脳血管疾患 5,188 ( 72.5 )	脳血管疾患 135 ( 67.8 )	脳血管疾患 49 ( 72.6 )	老 衰 83 ( 63.0 )
5位	肺 炎 73,194 ( 59.6 )	肺 炎 4,778 ( 66.8 )	肺 炎 96 ( 48.2 )	肺 炎 45 ( 66.6 )	肺 炎 51 ( 38.7 )

(2) 男

順位	全 国	埼 玉 県	管 内	蕨 市	戸 田 市
(全死因)	706,834	41,168	945	387	558
1位	悪性新生物 220,989 ( 368.3 )	悪性新生物 12,378 ( 347.7 )	悪性新生物 283 ( 279.8 )	悪性新生物 113 ( 332.0 )	悪性新生物 170 ( 151.3 )
2位	心疾患 (高血圧性を除く) 99,304 ( 165.5 )	心疾患 (高血圧性を除く) 6,033 ( 169.5 )	心疾患 (高血圧性を除く) 101 ( 99.9 )	心疾患 (高血圧性を除く) 37 ( 108.7 )	心疾患 (高血圧性を除く) 64 ( 95.4 )
3位	脳血管疾患 50,390 ( 84.0 )	肺 炎 2,883 ( 81.0 )	脳血管疾患 70 ( 69.2 )	脳血管疾患 25 ( 73.5 )	肺 炎 29 ( 43.2 )
4位	肺 炎 44,902 ( 74.8 )	脳血管疾患 2,743 ( 77.1 )	肺 炎 58 ( 57.3 )	肺 炎 29 ( 85.2 )	老 衰 26 ( 38.7 )
5位	老 衰 35,779 ( 59.6 )	老 衰 2,145 ( 60.3 )	老 衰 48 ( 47.5 )	老 衰 22 ( 64.6 )	脳血管疾患 45 ( 67.1 )

(3) 女

順位	全 国	埼 玉 県	管 内	蕨 市	戸 田 市
(全死因)	665,921	33,996	798	333	465
1位	悪性新生物 157,396 ( 248.3 )	悪性新生物 8,198 ( 227.8 )	悪性新生物 187 ( 190.7 )	悪性新生物 89 ( 265.7 )	悪性新生物 98 ( 151.8 )
2位	心疾患 (高血圧性を除く) 106,292 ( 167.7 )	心疾患 (高血圧性を除く) 5,477 ( 152.2 )	心疾患 (高血圧性を除く) 119 ( 121.3 )	心疾患 (高血圧性を除く) 50 ( 149.3 )	心疾患 (高血圧性を除く) 69 ( 106.9 )
3位	老 衰 96,661 ( 152.5 )	老 衰 4,751 ( 132.0 )	老 衰 98 ( 99.9 )	老 衰 41 ( 122.4 )	老 衰 57 ( 88.3 )
4位	脳血管疾患 52,588 ( 83.0 )	脳血管疾患 2,445 ( 67.9 )	脳血管疾患 65 ( 66.3 )	脳血管疾患 24 ( 71.6 )	脳血管疾患 41 ( 63.5 )
5位	肺 炎 33,548 ( 52.9 )	肺 炎 1,895 ( 52.6 )	肺 炎 38 ( 38.7 )	肺 炎 16 ( 47.8 )	肺 炎 22 ( 34.1 )

第9表 合計特殊出生率の年次推移

年次	全 国	埼 玉 県	管 内	蕨 市	戸 田 市
27	1.45	1.39	1.52	1.35	1.71
28	1.44	1.37	1.28	1.08	1.48
29	1.43	1.36	1.20	1.03	1.32
30	1.42	1.34	1.17	0.92	1.30
R1	1.36	1.27	1.13	0.92	1.24
R2	1.33	1.27	1.32	1.18	1.39
R3	1.30	1.22	1.00	0.75	1.13

注：1 合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

なお、この表の数値は5歳階級の人口を用いて算出している。

2 率の算出に用いた人口

「各年1月1日現在埼玉県町（丁）字別人口（総人口）」（埼玉県総務部統計課）

国勢調査年（平成27年及び令和2年）は「国勢調査人口（日本人人口）」（総務省統計局）

3 国勢調査年は「日本人人口」で算出するため、総人口で算出されるその他の年に比べ、率が高くなる傾向にある。

第10表 管内人口の年次推移

年次	管内合計			蕨市			戸田市		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
R 1	216,745	110,101	106,644	75,021	37,977	37,044	141,724	72,124	69,600
R 2	217,161	110,218	106,943	75,010	37,955	37,055	142,151	72,263	69,888
R 3	215,559	108,942	106,617	74,192	37,437	36,755	141,367	71,505	69,862
R 4	215,803	108,847	106,956	73,916	37,280	36,636	141,887	71,567	70,320

注：各年10月1日現在

## 第4部 関係団体等一覧

### 1 埼玉県南部地域医療構想調整会議委員名簿

(令和5年4月1日現在)

氏名	所属	氏名	所属
長江 厚	川口市医師会	齋藤 卓	医療法人刀水会齋藤記念病院
早船 直彦	蕨戸田市医師会	田辺 知宏	医療法人社団協友会東川口病院
渡辺 隆志	川口歯科医師会	柴田 潤一郎	全国健康保険協会埼玉支部
山岡 昌彦	蕨戸田歯科医師会	渡辺 千津子	埼玉県後期高齢者医療広域連合
小寺 慶二	川口薬剤師会	白石 恵子	鳩ヶ谷訪問看護ステーション
本吉 義博	蕨市地域薬剤師会	宮澤 章公	川口市保健部
染川 智行	戸田市薬剤師会	根津 賢治	蕨市健康福祉部
大塚 正彦	川口市立医療センター	櫻井 聡	戸田市健康福祉部
原澤 茂	埼玉県済生会川口総合病院	岡本 浩二	川口市保健所
佐藤 信也	医療法人社団東光会戸田中央総合病院	平野 宏和	埼玉県南部保健所
高橋 太郎	医療法人高仁会		
長江 康	医療法人寿康会寿康会病院		
佐藤 雅彦	埼玉県済生会川口総合病院		
中島 昌人	医療法人財団啓明会中島病院		



## 2 埼玉県南部地域保健医療協議会委員名簿

(令和5年4月1日現在)

氏名	所属	氏名	所属
長江 厚	川口市医師会	宮澤 章公	川口市保健部
早船 直彦	蕨戸田市医師会	根津 賢治	蕨市健康福祉部
渡辺 隆志	川口歯科医師会	櫻井 聡	戸田市健康福祉部
山岡 昌彦	蕨戸田歯科医師会	岡本 浩二	川口市保健所
小寺 慶二	川口薬剤師会	平野 宏和	埼玉県南部保健所
本吉 義博	蕨市地域薬剤師会		
染川 智行	戸田市薬剤師会		
柴田 潤一郎	全国健康保険協会埼玉支部		
渡辺 千津子	埼玉県後期高齢者医療広域連合		
白石 恵子	鳩ヶ谷訪問看護ステーション		
植田 富美子	蕨市母子愛育会		
石原 真由美	川口市食生活改善推進員協議会		

### 3 埼玉県南部地域保健医療協議会 在宅医療部会委員名簿

(令和5年3月31日現在)

氏名	所属	氏名	所属
早船 直彦	蕨戸田市医師会	矢島 とし子	川口市在宅医療サポートセンター
長江 厚	川口市医師会	矢作 伸子	蕨戸田市在宅医療支援センター
渡辺 隆志	川口歯科医師会	小野里 和子	地域連携看護師会
山岡 昌彦	蕨戸田歯科医師会	丸山 恵美子	川口市介護事業者協議会
永田 直美	川口薬剤師会	物井 貴浩	蕨市第三地域包括支援センター
渡邊 圭一	蕨市地域薬剤師会	森岡 有子	川口市福祉部介護保険課
野口 昌也	戸田市薬剤師会	堀江 宏	川口市福祉部長寿支援課
齋藤 卓	医療法人刀水会齋藤記念病院	加藤 晶大	蕨市健康福祉部介護保険室
中島 昌人	医療法人財団啓明会中島病院	長友 弘毅	戸田市健康福祉部健康長寿課
杉浦 敏之	医療法人社団弘恵会杉浦医院	岡本 浩二	川口市保健所
辻川 昭仁	辻川ホームクリニック	平野 宏和	埼玉県南部保健所
白石 恵子	鳩ヶ谷訪問看護ステーション		

#### 4 川口地区救急医療対策協議会委員名簿

(令和5年3月31日現在)

氏名	所属	氏名	所属
長江 厚	川口市医師会	馬場 俊也	医療法人新青会川口工業総合病院
長谷 達也	川口市医師会	増田 剛	医療生協さいたま生活協同組合埼玉協同病院
田辺 知宏	川口市医師会	益子 健康	医療法人健仁会益子病院
渡辺 隆志	川口歯科医師会	服部 晃典	川口誠和病院
大塚 正彦	川口市立医療センター	奥ノ木 信夫	川口市長
直江 康孝	川口市立医療センター	齋藤 和雄	川口市消防局
齋藤 卓	医療法人刀水会齋藤記念病院	岡本 浩二	川口市保健所
佐野 雅彦	埼玉県済生会川口総合病院	平野 宏和	埼玉県南部保健所

## 5 埼玉県蕨・戸田地区救急医療対策協議会委員名簿

(令和5年3月31日現在)

氏名	所属	氏名	所属
早船 直彦	蕨戸田市医師会	直江 康孝	川口市立医療センター
山岡 昌彦	蕨戸田歯科医師会	頼高 英雄	蕨市
鷺見 禎仁	蕨市立病院	菅原 文仁	戸田市
佐藤 信也	医療法人社団東光会戸田中央総合病院	野崎 好伴	蕨市消防本部
中島 昌人	医療法人財団啓明会中島病院	栃本 由兼	戸田市消防本部
公平 誠	医療法人慈公会公平病院	平野 宏和	埼玉県南部保健所

## 6 埼玉県南部保健所感染症診査協議会委員名簿

(令和5年4月1日現在)

氏名	所属	氏名	所属
桐山 裕二	桐山クリニック	玉作 恵美	さざんか総合法律事務所
辻川 昭仁	辻川ホームクリニック		

## 7 蕨・戸田地区保健医療協議会役員名簿

(令和4年4月1日現在)

役職名	氏名	所属・職名
会長	早船直彦	蕨戸田市医師会長
副会長	菅原文仁	戸田市長
同	頼高英雄	蕨市長
同	平野宏和	埼玉県南部保健所長
幹事	河野本生	蕨戸田市医師会理事
同	染川智行	戸田市薬剤師会長
同	熊本順一	獣医師会戸田蕨分会長
同	海野智	蕨戸田歯科医師会副会長
同	鈴木健司	埼玉県南部保健所副所長
同	後藤英明	戸田市福祉保健センター所長
同	安治直尚	蕨市保健センター所長
監事	鷺見禎仁	蕨市立病院長
同	飯島昌一	戸田市立市民医療センター所長
会計	工藤茂	蕨戸田市医師会事務局長

## 8 南部保健医療圏地域災害保健医療調整会議委員名簿

(令和5年3月31日現在)

氏名	所属等	氏名	所属等
直江 康孝	川口市立医療センター	鈴木 経一	蕨市消防本部
立花 栄三	川口市立医療センター	岡本 秀之	戸田市消防本部
坂田 一美	川口市立医療センター	増田 浩和	川口市消防局
石戸 保典	埼玉県済生会川口総合病院	遠藤 源夫	蕨警察署
光岡 英之	埼玉県済生会川口総合病院	吉川 大介	武南警察署
早船 直彦	蕨戸田市医師会長	久米 康弘	川口警察署
原田 容治	蕨戸田市医師会理事	加藤 宏之	蕨市市民生活部安全安心推進課
齋藤 卓	川口市医師会副会長	安治 直尚	蕨市保健センター
山岡 昌彦	蕨戸田歯科医師会長	石原 亮	戸田市危機管理防災課
田村 尚之	川口歯科医師会副会長	岩崎みゆき	戸田市立市民医療センター
本吉 義博	蕨市地域薬剤師会長	木田 聡	川口市危機管理部防災課
野口 昌也	戸田市薬剤師会副会長	加来 竜馬	川口市保健部保健総務課
金子 裕子	川口薬剤師会副会長	岡本 浩二	川口市保健所
高田 綾野	看護協会第7支部	高柳 正行	埼玉県南部地域振興センター
窪田 研二	透析災害医療第1ブロック	平野 宏和	埼玉県南部保健所

## 9 南部保健医療圏災害時小児周産期医療体制検討委員会名簿

(令和5年4月1日現在)

氏名	所属	氏名	所属
長江 厚	川口市医師会	佐藤 倫也	さとうレディースクリニック
栃木 武一	川口市立医療センター	増田 浩和	川口市消防局
大山 昇一	埼玉県済生会川口総合病院	鈴木 経一	蕨市消防本部
千島 史尚	川口市立医療センター	岡本 秀之	戸田市消防本部
箕面崎 至宏	川口市立医療センター	加来 竜馬	川口市保健部保健総務課
市川 知則	川口市立医療センター	田谷 信行	蕨市立病院
西岡 正人	川口市立医療センター	今井 教雄	戸田市立市民医療センター
直江 康孝	川口市立医療センター	高橋 泰洋	さいたま赤十字病院
網倉 貴之	埼玉県済生会川口総合病院	閑野 将行	埼玉県立小児医療センター
内藤 朋巳	埼玉県済生会川口総合病院	岡本 浩二	川口市保健所
松永 保	医療法人社団東光会戸田中央総合病院	平野 宏和	埼玉県南部保健所
黒牧 謙一	蕨市立病院		
佐野 養	医療法人社団東光会戸田中央産院		
山森 裕之	医療法人社団キュレスト山森小児科		

# 10 南部保健医療圏難病対策地域協議会委員名簿

(令和4年10月25日現在)

氏名	所属	氏名	所属
小俣 香	川口市医師会	堀江 宏	川口市福祉部長寿支援課
梅田 浩	蕨戸田市医師会	森岡 有子	川口市福祉部介護保険課
塩田 宏嗣	川口市立医療センター	小柴 晴香	蕨市健康福祉部介護保険室
鷺頭 正大	川口歯科医師会	児玉 晴美	戸田市福祉部長寿介護課
白根 雅之	蕨戸田歯科医師会	大場 崇吏	川口市福祉部障害福祉課
羽鳥 勝郎	川口薬剤師会	岡本 加南子	蕨市健康福祉部福祉総務課
長戸 琴	蕨市地域薬剤師会	谷田部 早紀	戸田市福祉部障害福祉課
伊藤 剛志	戸田市薬剤師会	作田 勝憲	川口市保健所地域保健センター
伊東 環	埼玉県訪問看護ステーション協会	細野 亜紀子	蕨市健康福祉部保健センター
新田 美幸	地域連携看護師会	新井 理奈	戸田市福祉部福祉保健センター
矢島 とし子	川口市在宅医療サポートセンター	岡本 浩二	川口市保健所
矢作 伸子	蕨戸田市在宅医療支援センター	平野 宏和	埼玉県南部保健所
鈴木 千映	川口市地域包括支援センター		
橋本 佐和子	蕨市地域包括支援センター		
林 美知絵	戸田市立地域包括支援センター		



## 1 1 管内関係団体

(令和4年4月1日現在)

名 称	所 在 地	電 話
川口市医師会	川口市本町4-1-8 川口センタービル4F	048-227-5811
蕨戸田市医師会	戸田市新曽1295-3	048-445-1131
川口歯科医師会	川口市上青木3-12-63 SKIPシティ・彩の国ビジュアルプラザ棟4F	048-487-8065
蕨戸田歯科医師会	蕨市中央7-17-21 山岡歯科医院	048-441-2544
蕨・戸田地区保健医療協議会	戸田市上戸田5-6 戸田市福祉保健センター内	048-446-6284
埼玉県獣医師会戸田・蕨分会	戸田市笹目4-19-16 藤井 方	048-421-8030
川口薬剤師会	川口市幸町1-1-17 フクロク・ハイ・マンション1号館206号室	048-299-5735
蕨市地域薬剤師会	蕨市中央3-16-13 本吉 方	048-431-2766
戸田市薬剤師会	戸田市新曽南2-4-8 染川 方	048-434-2215
川口地区助産師会	川口市坂下町4-18-3 はとがや助産所	048-284-6362
川口食品衛生協会	川口市前川1-11-1 川口市保健所内	048-262-9292
戸田・蕨食品衛生協会	川口市前川1-11-1 埼玉県南部保健所内	048-262-8364
埼玉県南部保健所管内 環境衛生協会	戸田市中町1-20-15 長岡 方	048-443-4002
南部保健所管内 戸田・蕨狂犬病予防協会	戸田市上戸田1-18-1 戸田市役所環境課内	048-441-1800
埼玉県南部保健所管内 薬物乱用防止指導員協議会	川口市前川1-11-1 埼玉県南部保健所内	048-262-6111
蕨市献血推進連絡協議会	蕨市北町2-12-15 蕨市保健センター内	048-431-5590
蕨市母子愛育会	蕨市北町2-12-15 蕨市保健センター内	048-431-5590
蕨市食生活改善推進委員会	蕨市北町2-12-15 蕨市保健センター内	048-431-5590
川口・戸田・蕨給食研究会	戸田市本町1-19-3 戸田中央総合病院内	048-442-1111